Vol 34 No. 9892 Thursday November 16 1939 TAIRIKU NIPPO 昭和十四年十一月十六日（木曜日）第九千八百九十二號

大陸日報
TAIRIKU NIPPO
THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
213 & 215 W. CORDOVA ST.
VANCOUVER, B. C.

本紙定價（前金）
壹ヶ月七拾五仙
六ヶ月四弗五拾仙
壹ヶ年八弗五拾仙
發行所
株式會社
大陸日報社
社長 山崎寧
晩香坡東コルドバ街二一五
電ツリ五五三三

オイル、
ケチンストーブ
ウオムストーブ
經濟と便利な
ヤマタキシー

陸軍の明年度豫算 五十數億圓に達せん

對ソ國防充實に重點

東京—明年度陸軍關係豫算については歐洲情勢の微妙なる推移を背景として、いよ〳〵事變處理の實践的段階に突入した諸般の客觀的事情を考慮に入れ、從來陸軍省豫算事務當局は懸命の檢討を續けてゐたが、最近陸軍豫算編成の一應の大綱が決定し、これにもとづく極めて概括的だが數字をも計上するに至つたので、豫算事務當局は更にこれに對して細目にわたる技術的檢討を加へて、最後的決定をなすわけで、順調に運べば近く大藏省と具體的折衝開始の段取りとなるものとみられてゐる、しかして目下概算的に計上された陸軍豫算は十四年度と大差はないが、十四年度より增加の趨勢を辿り、一般會計豫算並びに臨時軍事費一切の陸軍豫算の總額は五十四、五億に垂とする概數を計上されてゐる、しかして十五年度陸軍豫算編成においては特に注目すべき政治的條件としては

一、國際情勢の急變による新情勢並びにこれが推移による新たなる國防計畫の樹立

◇

一、支那事變における作戰繼續と共に一面事變處理の實践的段階への考慮等が前提となるわけであり、更にこれ等政治的條件と共に前年度と比較しての國際物價水準の三、四割高といふ重大なる經濟的條件が考慮さるゝと共に、對米廿三ドル十六分の七といふドル・リンク制による爲替の關係も加味さるゝわけであるが、これ等の一般的な政治的、經濟的條件への周到なる考慮は勿論のことながら、最も注目すべきは對ソ聯の關係において、純國防的見地に立脚したる軍事豫算の編成を對ソ聯の外交原則といふ政治問題と全く切り離して考慮すべきとの毅然たる理論と實際の上に立脚したる方針を陸軍がその豫算の上に具現せんとしてゐる事である、かくして支那事變處理への積極的態勢を明年度豫算の上に具現せしめんとしてゐることは、けだし今後の陸軍の動向とも關聯して注目されてゐる

大使堀内さん

對米交渉のため居据り 新大使起用は見合せ

東京—堀内駐米大使については日米通商航海條約廢棄通告の新事態に對應するため野村外相時代から更迭論がしきりに行はれてゐたが、野村外相は日米通商條約をいよ〳〵改訂交渉をはじめねばならず、かつ支那事變を中心とする日米國交調整の日米東京會談は既に開始の情勢となつたので、この際事情に馴れぬ新大使を起用してまた最初から出直すよりも、かへつて堀内大使をして從來通り引續き交渉に當らせた方がよからうといふことになり、當分堀内大使をして現状のまゝ對米交渉を進めて行く方針に決定した（寫眞は堀内大使）

臺灣銀行の增資

東京十六日（同盟）—臺灣銀行では最近臺灣の工業發展並びに南進國策上の必要などに鑑み現在資本金一千五百萬圓を六千萬圓に增額するに決定、このほど大藏當局の內諾を得たので右增資案を來議會に提出、明年四月より實施する豫定

英國・著しく 對日接近

現銀問題を解決へ

ロンドン十五日（同盟）—英國政府は北支駐屯軍の引揚げ斷行により著しく對日接近の態度を示しつゝあり、當地外交[illegible]方面では天津の現銀引渡し問題も近く解決が期待されると述べてゐる、尚ほ消息通は各種問題に對し秘かに調停的努力をし[illegible]インペリアル[illegible]の問題に關し日英關係改善に努力を集中さるやう特に[illegible]取扱上の注意を要請したと傳へられ、更に政界上層部の間には上海英國駐屯軍の兵力削減を企圖してゐる者もあるといはれてゐるが、外務當局は一應右の[illegible]

援蔣の總元締 カー英國大使

支那引揚げか？

香港—カー駐支英大使はすでに數週間前本國政府から召喚の命に接したといはれるが、右は歐洲戰爭に即應して英國が對支政策が修正必至の情勢にあり、從來元締の觀ある同大使の支那引揚げはこの際むしろ自然であり、かれのためにも退場のよい潮時であるとされてゐる、最近重慶の[illegible]の晩餐會はカー大使送別の意味を含めたものと解されてゐるが、同大使は重慶在中蔣介石との間に種々の英支協定を結んだといはれ一般には同大使は重慶退去後さらに何事かを畫策するのではないかと注目してゐる（寫眞はカー大使）

天羽大使 ローマ到着

ローマ十五日（同盟）—新任駐伊大使天羽英二氏は十五日ローマに着任した

三省境掃蕩戰 一段落を告ぐ

開封十五日（同盟）—鬼影、那須、高山、杉本、宮川、野口、今村、黒崎各部隊の精鋭は去る十一日より河南、河北、山東の三省境付近に殘存、東部隴海線を破壞し治安を攪亂する共產系便衣匪の重要巣窟を急襲する一方村落の隱匿兵器を隈なく檢索して之を鹵獲、多大の戰果を收め十五日を以て掃蕩戰は一段落を告げた

東京十六日（同盟）—海軍省軍事普及部山口中佐は十五日付次の通り轉職發令されその後任には田代少佐が十六日着任した

海軍中佐 山口肇
補舞鶴要港部副官兼參謀
海軍少佐 田代格
補軍令部出仕兼海軍省出仕、大本營海軍報道部員仰付らる

汪政權妨害に 蔣の攪亂策！

許世英・杜月生へ密令

香港—汪精衛氏を中心とする新中央政權の實現がすでに動かすべからざる段階に入つたことは蔣介石を頗る焦慮せしめ、蔣はすでに數度にわたり汪精衛氏が失陷地區內の政治を領導する限り絶對に日本と和平せずと言明し新中央政府樹立妨害を種々畫策しつゝあるが在香港支那要人の語るところによれば、最近さらに香港より重慶へ主要人物二名を招致して汪工作破壞に躍起となつてゐるといはれる、その一人は駐日大使だつた許世英、もう一人は青幇の親分で上海實業界の大物杜月笙である、しかして許世英は有力政客をして汪精衛、王克敏、梁鴻志の合作を阻害せしめることゝし、杜月笙はその隱然たる勢力を利用し上海、南京方面の財界、實業家に働きかけ、汪派支持を阻止せしめるやう密令を受けたといふのである、これら兩人物の暗躍が果してどこまで影響するかは疑問だが、支那人側一般でさへ蔣介石が重慶に樹立せんとしてゐる立憲政府は着々進捗しつゝある汪精衛氏の新中央政府の誕生によつて致命的打擊を受けるだらうと觀測してゐる

グルー大使演說は ル大統領の指金

米人が暴く經緯內幕

ニウヨーク—過日グルー米大使が日米協會で行つた演說はルーズベルト大統領直接の指圖によりおとなしいグルー大使が必死の勇氣を振つて行つたものとされてゐるが、このほどワシントン・メリー・ゴーラウンドの筆者ピヤソンおよびアレン兩氏が暴露した內幕によればグルー大使の演說はつぎのごとき經緯から生れたものである

すなはち過去二年間チエンバレン英首相はケネディ駐英米國大使を通じて二回にわたりルーズベルト大統領に對して[illegible]れた場合、米國は極東において特に日本に對しいかなる方策に出るかにつき問ひ合せた、その際、チエンバレン首相は歐洲戰爭の場合、英國は極東と地中海の二つの海面に一度に强力な艦隊を配備することは到底できないから、日本が太平洋ではしいまゝな振舞をしたなら英國は米國の艦隊からいかなる援助を期待できるかと問ひ合はせた、これに對しルーズベルト大統領は米國は外國の紛爭の渦中に卷き込まれるごとき種類の誓約をすることはできぬが、米國は太平洋に常に重大なる利害關係を持つから臨機に適當な手段に出ると回答した、かくしてルーズベルト大統領はひそかに極東政策の腹案を練り、一つはこれをグルー大使に授け、他の一つは米國の海軍に指令した、まづルーズベルト大統領は歐洲に戰爭が起れば日本が太平洋方面における石油の資源を手に入れ、さらに佛領インド支那およびシンガポールにまで手を延ばす自由な立場になるだらうと考へてゐた、そこで今春ヒトラー總統がダンチヒを脅かすや、ルーズベルト大統領は突如として大西洋にあつた米國艦隊を太平洋に回航せしめた、それと同時にかれはグルー大使をワシントンに呼びよせて、過日の演說に現はれたごとき腹案を傳授し、これを支援する意味で太平洋艦隊をハワイにまで示威運動させたといふのである

ルーズベルト

グルー大使はモルガン財閥の一員でルーズベルト大統領とはむしろ反對の立場にあり、ルーズベルト氏が大統領に當選した當時、直ちに引退するものと一般に豫期されてゐたのだが、それが逆にル大統領の强硬な對日政策のお先棒をかつぐことゝなつたのだと皮肉つてゐる

比島の小賣商は 比島人の手に

ケソン大統領の演說

マニラ十六日（同盟）—ケソン大統領は十五日比島聯邦政府成立四周年記念日における演說中において政府は比島における小賣商を外國人の手より比島人の手に移し、また比島產業の利益は比島人によつて分配されるやう再組織しなければならぬと述べ經濟的國家主義を政府の方針とする意向を表明した、これによつて政府は今後外國人小賣商に對し新規營業を許可しないものとみられ、華僑の打擊は甚大なるべく華僑側では早くも猛烈なる反對運動を起した

◇大陸風景◇

北支駐屯軍はまだおろか上海駐屯軍までも引揚げると云ふロンドン便り

……▽……

あまりに歡待されると變に氣を廻さゞるを得ない如く此の便り一寸コワい

……▽……

つまり逃げた獅子の後へ虎が現れ餌を漁るかも知れないてな事もある

……▽……

尤も在支外國駐屯軍などは獅子でもなく虎でもないたゞ厄介な廿日鼠程度のものなり

……▽……

日ソ接近は機會主義の現れである、國防豫算は此の前提に立つ事當然であり賢明である

SUN LIFE OF CANADA
◎朝起キヤ 何時ト見ヘネド 積ム黄金
加奈陀サン生命保險會社
青年の方は
僅か一日七仙の節約で廿才前後の方は年一回掛の廿弗內外で壹千弗の貯蓄保險が得られます
中年の方は
安い掛金を御希望の方は卅五年掛の養老貯蓄保險に 又 終身保險に
老年の方は
掛金が割安で。七十五才。乃至八十才滿期の保險に加入出來ます
300 E Cordova St., Vancouver,
電話ツリニテ 五五九九 及 四六九七R
◎塵モ 積モレバ 山トナル

加奈陀 サン保險の 英斷 を 見よ 中野保險

紙類及文房具卸商
COLUMBIA PAPER CO. LTD.
晩市ホーマー街九九六
電話ツリニチー二五三一

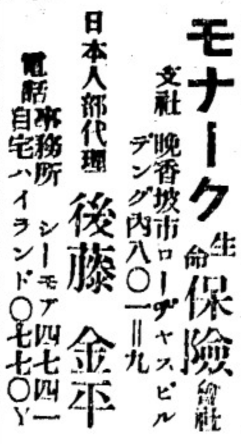
紙類及文房具卸商
晩市及ヴイクトリア
スミスデビツドソンエンドライト會社
SMITH, DAVIDSON & WRIGHT, LIMITED

諸種製材
御入用の節は日本人販賣人山崎半次に御面談下さい
會社の電話番號 二七四〇=二七四一
新西院
モハーク製材所
MOHAWK LUMBER CO
New Westminster. B. C.

日加貯蓄
◇貯蓄預金 ◇當座預金
◇公債賣買 ◇信託預金
◇最近締切日 十一月十八日 十一月廿一日

日加合同貯蓄會社
晩香坡パウエル街三九八
電話ハイランド〇四〇〇
JAPAN AND CANADA TRUST SAVINGS CO.
P. O. Drawer 130 398 Powell Street
Vancouver, B. C.

Monarch Life Assurance Co.



非常の場合家族を救援、壯年時に事業の援助、子弟の教育完成、老後のハツピーライフ 當社を御利用下さい
モナーク生命保險會社
支社 晩香坡市ローヂヤスビルデング內八〇一=九
日本人部代理 後藤金平
電話 事務所 シーモア四七四一 自宅ハイランド〇七七〇Y

THE ROYAL BANK OF CANADA
East End Branch
Vancouver, B.C.
▲預金 總ての銀行取引には當ローヤル銀行とお決め下さる樣御願ひいたします 當行では皆樣に充分御滿足をお與へする事が出來ると確信してをります
▲送金 多數の日本內地銀行と取引して居る當行では日本送金相場を非常に勉强してをります事は既に皆樣の御承知の事と存じます 當行では日本人事務員を雇用して居りますから日本人の取引には非常に便宜で殊に地方に在住なさる方では邦文の手紙で諸用を達する事が出來ます
▽總資產 九億弗
▽資金及積立金 五千五百萬弗
ローヤル銀行
メーン街及びヘスチング街角

The Yokohama Specie Bank
822 3rd Ave., Seattle
Elli. 3575 P.O. Box 1917
横濱正金銀行 シアトル支店
◎資本金 壹億圓
◎積立金 壹億參千九百六拾五万圓
○郷里送金=無手數料にて日本內地、滿鮮、其他へ迅速且つ確實に送金いたします
○普通送金=送金手形或は電信爲替世界各地向取組
○圓貨定期預金=利息、六ヶ月以上年三分三厘
○米貨定期預金=弊行桑港支店に御取次致します 期間は一箇月以上一ヶ年迄 利息は弊店御取次の日より附けます

THE SUMITOMO BANK OF SEATTLE
02 3rd Ave., Seattle, Wash.
シアトル住友銀行
日本向送金手形、郷里送金は左記のローヤル銀行支店にて御取次致しますから精々御利用下さい
晩香坡イーストエンド、エステブストン、ニユウエストミンスター、マーポール、ラドナー、カムバランド、ビクトリア等
米金預金
弗定期預金 六箇月以上年二分
弗特別定期（十年引出不要）年二分三厘
弗貯蓄預金 年一分
弗月掛貯金 年二分
小切手勘定 無利息
日本向定期爲替手形 六ヶ月以上年三分三厘

Burglary & Hold-up Insurance
盜難保險

住宅（$1500） 掛金	10.80
商店（ホールド・アップ）	5.00
同 （フール・カバー）	37.50

TANAKA INSURANCE AGENCY
田中保險代理社

紙はり
バウエル街三四六
電話ハイランド〇二八九エル
小林（澄明 壽持）

富士美容院
モーラー美容專門學校出身
矢部しげ子
電話ハイランド四九一八

美粧院
北野喜美江
電話シーモア〇八五五
自宅ハイ一〇三三エム

晩市西[illegible]五街一五二七
サンビューテーパーラー
池田照子
電話ベビュー八七五〇アール

日本人總代理
矢田源一郎
電話ツリニチ五一〇一=五一〇二
住宅ハイランド三三二七

女の教室

吉屋信子

(100)

より高きもの (四)

節子は、枕もとの小椅子に身を起して、病人の顔を、のぞき込んだ。

『貴女も踊つて！』

病人はさう静かに、さう言ふのだつた。

『どこへ踊れつての？』

節子の怨む眼ざしを、避けるやうにして、

『うちは、いまからつゞけだから、やつぱり叔父さんのとこへでも──』

『いやよ、私こゝにゐてよ、叔父さんへ出るにしても、こゝから通ふわ』

節子の語氣は、強かつた。

『病院で、ちやんと、きめたぢやないの』

病人が言つた

『ちがふの──あのときの私と──いまと』

節子が、そつと顔を近づけた

『私が病院からつて──同情しないで、──はつきりさせて──私は、あの時と、考へ變らない──やつぱり──やはり、貴女と別れるより──』

有爲子が、そつと瞼を閉ぢた。みるみるその睫毛に、涙がにじ[illegible]

『有爲子さん──兄は戦死したのよ』

ふいと、節子が切なく言つた

『あの晩──母から聞いて──[illegible]の兄、[illegible]つた、あのお兄さんが──と、涙が出て──私、手を合せて拝んだわ……』

『……ありがとう──』

節子も、ほとりと涙した。

『私、踊つて兄の日記讀んだの──そして、いまの自分に嫉妬が湧いたの──しみじみ自己嫌惡に陥入つて──やりきれなくつて……』

──有爲子は、默つて聞いてゐる。

『──淳一さんへ、はつきりと私お手紙書いたの──兄の日記に、私の葬式に來て、別れの默禱をさゝげながら──女性として清く正しき道を通れかしと──兄が祈つてくれたこと知ると、私──穴があつたら……』

節子は、わが手で面を掩うた

『……わかつてよ……貴女の氣持──あのときも──いまも──みなわかる……あゝやつぱりお友だちに、また戻れるのねえ──う、うれしい──』

有爲子は、この病に、早くも細つた手を一生懸命で、寢床からさしのべた

節子は、その手をじいつと握り締めて、

『これで──なにも、かも、いゝのよ──だから──だから、早く元氣になつてね』

『ねえ、なほりたいわ、どうしても──どんなことしても、もいちど、きつと丈夫になりたい──だけど──』

『駄目、また、そんな──患者と醫者を兼ねる自己診斷は、やめて頂戴！なにも、かも、おとなしく、素直になつて、病氣のことは、人任せで──なほるつもりになつてね』

『さうするわ──私、いま死ぬのいや！──生きてゐたい！かうして、貴女とも、また元に戻れたし──倫文も許されたし──、あの麟山も──節子さん、私、どしたつて、いま死んぢやいけないわねえ……』

有爲子が涙に濡れた頬を、痙攣させて、唇を噛み締めた。

『さうよ、だから石にしがみついても、きつと、なほす決心でね、私ずつと離れず付いてます』

節子は、この友を救ふ、どんな病氣とも、身を投げ出して、戦ひ抜かうと決心した。

風のやうに

片岡鐵兵

(一六)

良くない男 (五)

しまひには泣いてわびる癖に、腹がたつたつて仕方がないではないか。さうも思ふ。根氣比べだ。そこで、瀬戸は、ひそかに彼女の方を監視しながら、冷淡をよそほつて、一つところに立ちつゞけた。

たうとう、横濱驛に着いた。終點だ。プラットから、出口の方に流れて行く人々の流れの中に、瀬戸も節子もゐた。瀬戸は節子のすぐ後を、彼女の歩調に合はせて歩いた。

急に彼女が、くるりと振返つた。

『何處にいらつしやるの？』

『あなたの行くところに』

『あたしが、何處へ行くか、ご存じ？』

『一向、知りません』

改札の出口まで來た。

『新橋から乗越しです』

と瀬戸はそこで立ちどまつて驛夫に切符を示した。驛夫は冷淡に

『一寸待つて下さい』

『急ぐんですが』

『すぐでも』

瀬戸は、垣の内側に立つて、一とほり乗客が出てしまふまで待たなければならない。

『今度の金曜日の正午に、新宿の紅蘭でお目に掛りますわ』

節子はさう云ふと、瀬戸を殘したまゝ、さつさと、群衆の中に消えて行つた。

乗越料を拂つて、やつと驛夫から解放されると、瀬戸は念のため驛の構内をあちらこちら節子を捜しまわつて見たが、勿論彼女の姿は何處にもなかつた。

（矢張り、俺に見られては都合のわるい誰かと待ち合はせたのか知ら？）

不思議な敗北感だつた。愛する女に、何か秘密があると嗅ぎつけ初めた時、あらゆる男が感じる、あの一種の恐怖。とてもかなはないと云ふ諦めと、何を相手ともなしに沸いて來る漠然たる嫉妬。

先づ、その日の歸りの電車の中の瀬戸ほど憂鬱な男には、めつたに出會ふものではない。

が、たつた一つ、希望がある（今度の金曜日の正午、新宿の紅蘭でお目に掛りますわ）と云つた節子の言葉が、一とすじはつきりと、瀬戸の暗い心の中に光つてゐる。それが光つてゐる限り、彼女を泣いて詫びらせる希望は生きてゐるのだつた。

W.D. & H.O.
WILLS'
FINE CUT
CIGARETTE TOBACCO
W.D. & H.O. WILLS

◇家庭には經濟的な半斤入罐を

◆ポケットには十仙及十五仙包を是非とも御愛用して下さい

愛煙家がどのタバコよりもウイルスを吸ふと云ふ事は口あたりがよく、而かも味がよいからであります

和洋お菓子一切
豊富に取揃へて
ございます
パウエル街三五七
鈴木菓子店
電話シー七九三五
月刊雑誌

各種製箱業
御注文に應じ如何樣にも製作致します
アレキサンダー街四〇六

新着御案内

干カマス	一斤	二五
干ニシン	一斤	二五
丸干イワシ	一斤	二〇
日本里芋 大玉	一斤	一〇

何でも揃ふ
前川商店
パウエル街三六九　電話シー五二一八─五二一九

各種電線取付修繕
迅速確實にお安くいたします
公認　シカゴ、コイン電氣學校卒業
上田繁
電球販賣　晩市東カドバ街七六〇　電話ハイ五七六八エル

生菓子
祝餅
煎餅

最新式ソーダストバナー
各種あります
取付は大勉強

新着御案内

○山芋	二斤	二十五仙
○サツマ芋	五斤	二十五仙
○里芋	三斤	二十五仙
○日本栗		十五仙
○カブラ漬	一把	五仙
○糀漬大根		十仙
○胡瓜漬	一斤	十五仙

新魚市場（ニューフィシマーケット）
晩市パウエル街三九四
電話ツリニテー二九九六

VANCOUVER PACIFIC PAPER CO. LTD.

紙の御用は當會社へ
包紙、紙袋、色紙、油紙、トイレットペーパー、其他ペーパー類一切
ククリ糸、カザリ糸、文房具種々御賣
晩香坡パシフイツク・ペーパー會社
日本人部代理
ワター街一六〇
堀壽次郎
電話　本社ツリニチー六三三一　自宅ツリ四七九〇アール

天
味噌、醤油、清酢
糀、納豆、糀漬
天野兄弟商會
製造販賣元
晩市ダンダス街二一四一
電話ハイランド五五二六

McGAVIN

健康体とは？
肥滿ではなく骨格と筋肉である！

『ゼネテツク』ブレードにはての骨格と筋肉に必要な養分を含む胚芽が豊富に入れてある

『ドクター・チルデン』ローフは小麥に含まれてゐるものを其のまゝ原料として造られ健康要素を總て含んで居る

是非皆様の御買求めを望みます

Bread & Cakes

オームストーブ各種
ストーブパイプ
ケツチン道具
色々
大勉強
晩市メーン街二〇八
ピーシー金物店
電話ツリニチー五五三六

お客様御便宜の爲め
濕氣の絶對に來ない
御歸國なさる
方の家具荷造

カマボコ製造
晩香坡市パウエル街二五三
BC魚店
電話ツリ二七八八　夜間シー三五三八

▲ラヂオ修繕
如何なるラヂオにても丁寧に責任を以て修繕いたします
▲チユーブは無料にて試驗いたします
晩市パウエル街三三三
電話シーモア四一貳一
速水繁雄

◈和洋雑貨食料品
晩香坡市パウエル街三三七
蛭崎商店
電話ツリニ〇九九一

RESISTS HEAT—PREVENTS THESE BLOW-OUTS

自動車修繕
附屬品一切
グッドリッチタイヤー
大勉強で御用命に應じます
ポンテアツク、ビユーイツク、ジ・エム・シ・トラツクの特約販賣店
晩市アレキサンダー街ゴア街角
日本オート
電話ツリニテ　一八九九

高等　南京料理
日本人諸君の御來店を歡迎
晩市パウエル街二五二
新北京
電話シー五七七四　同三五一七

年賀状
各種調製──
三十枚　五十枚　七十五枚　百枚
百枚普通分　一、五〇以上
特製　二、五〇以上

年賀名刺
百枚　一弗

カタログ進呈
晩市パウエル街三三一
新見商會
電話ツリニテ[illegible]

薪炭販賣
名畑運送社
晩市ゴーア街貳貳貳

新荷着案内
◎菜種油
◎ピーナツオイル
◎身欠鰊
◎劍先鯣
◎五島鯣
◎里芋
◎サツマ芋

御買物はユニオンで
御買物は安く美味しい品を

ユニオン魚店
晩市パウエル街四六九
電話ハイ〇三三五─〇三三六

日本郵船 C.P.R
アメリカンライン
日本行船切符
C. P. Express
Money Order
販賣代理店
横濱正金銀行預金送金無手數料取扱
和洋食料雑貨精米
新西院市
西口商店
電話 壹壹六壹─一八八五　住宅九〇九X

御葬儀は日本人皆様に最善のサービスを致します
弊社に御用命下さい遠方にても少しの不便もない様に致します
電話次第御伺ひ致します
晩市キングスウエー三六四二
セントラル・パーク葬儀社
日本人紹介者　久岡文治
支配人　スウエーン
電話デクスター一二〇七

N.Y.K.
1404 - 4th Ave., Seattle, Wn.

◉郵船案内

（船名）	（入港）	（出帆）
氷川丸		十一月十九日
日枝丸	十一月廿二日	十二月五日
平安丸	十二月十三日	十二月廿七日
氷川丸	十二月廿六日	一月九日
日枝丸	一月九日	一月廿三日
平安丸	二月三日	二月十六日

○横濱行三等片道六三弗　神戸行　六五弗
◙日本郵船會社シアトル支店
代理店　晩市 B. W. Greer & Son Ltd.
美市 Great Northern Railway

自轉車はターメー
新學期と自轉車
是非御買上げの程を
イージー月拂御相談
學校用ノートブック
六十頁　二冊五仙
總て大勉強差上ます
松居善雄
メイン街一二二
電話ツリ五五五九
ターメー自轉車店

エジア	十一月廿七日	十二月九日
カナダ	十一月十三日	十一月廿三日
平安丸	十一月十三日	十一月廿一日
ロシア	十二月三十日	一月十三日

後五時三五分

●シアトル行（スチーマ）
前七時、九時、十一時・後一時、三時
後五時、七時
●レーピー汽船

發 前十一時 後六時（土）
着 前十一時四五、後五時（土）
發 前十一時 後八時四五（日）
着 後五時四五、八時一五（日）

シー・エス・アール
發 後九時（月）着 後二時半（土）

▲ポートアリス・イングルウッド
ナムー・プリンスルパート行
ユニオン汽船ハーデーペ經由

（水）前九時
（木）前九時、十二時
（金）前九時、後六時
（土）前九時、十二時、後八時半
（日）午後七時

●シーエス列車（東部行）
發 後七時一五・着 八時四十五
●大北列車（シアトル行）
發 前八時 後五時十五
着 午後四五分 後十時四十分

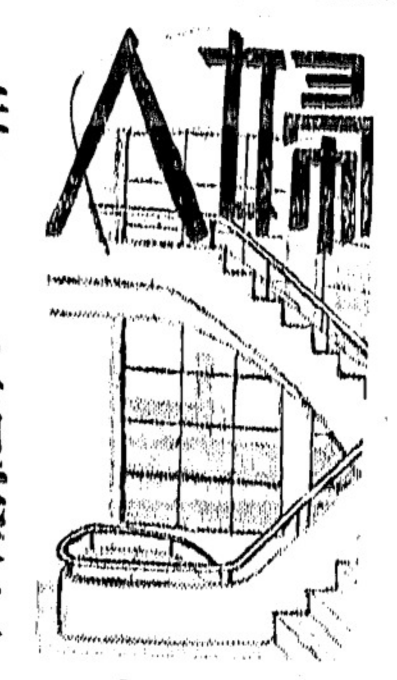
▲野菜＝新西院
ブレット
ビーツ 二把
キャベヂ 一斤
キャロツ 一把

二四
〇五 牛肉
〇三 ぶた
〇五 にわとり

▲生
肉 一斤
一斤 二〇…三〇
同 一斤 十三〇…十五〇
同 一四…一五
一六…一七

□今明日の天氣豫報
南西の風、曇り時々雨
（昨日最高 度・最低 度）

△十八日 土曜日 午前四、〇四 午後六、一〇 午前十一、二九 午後十、四〇
△十九日 日曜日 午前四、五三 午後七、一四 午前〇、一三 午後……



家庭

妻との眞理探求

馬鹿の十兵衛一言噺

◆1◆

靴下の穴を繕ひながら妻は私に囁いた

「ヤット貴方の足が靴下より大きくなつたのだわ」

◆2◆

繕ひの出來た靴下をはきながら私は妻に囁いた

「ヤット俺の靴下が足より小さくなつたのだよ」

食皿を掃除しながら妻は私に囁いた。

「煙草はあなたとても有害ですよ」

然し、私はそれを否定した。

「若しもたしかに煙草が有害であると言ふならば、煙草の木はどうしてあんなに育つたのであらうか」と。

◆3◆

或夏の日、妻は西瓜を喰べてゐた。

「西瓜に種がなかつたら、どんなにいいでせう」

妻は切實にそれを望んで居るやうであつた。然し私はそれについて一言も言はなかつた。西瓜に種が無いことを望む人は、多分西瓜を植て種が成育すると信じてゐる人であると私は信じて居たからである。

◆4◆

妻は私に

「何故本を讀まぬのか」

と聞いた。私は答へた。

「本を讀む位なら鼻糞をとるよ」

妻は

「ツン」と突つたきり何も言はなくなつた。

稍あつて私は妻を見た。すると妻は鼻糞をとりながら、本を讀んでゐた。

ユーモア物は好評

戀愛至上主義は嫌ひです

日本女學生の映畫觀

どんな映畫が女學生には評判がよいか、その興味性から調べて見ると先づ（一）愉快を感じるやうな筋の輕快なものでユーモアに富み、肩の凝らないやうな映畫はよかつたといつてゐます。例へば「エノケンのビックリ人生」「新婚旅行ゼンワッソン」「彌次喜多」等の

輕い 面白い興味のあるものがよいと云つてゐます。（二）情緒の豐かなもので感激せしめられ、泣かされるやうな映畫には魅力が感じる。

例へば「スッテラダラス」における母子の情愛の深さ「漂泊の孤兒」における情愛の場面「母の歌」における母性愛の強い處「祖國の花嫁」における女教員の子供への愛情には感激させられ泣かされたといつてゐます。（三）教訓を與へてくれるやうな筋書の

映畫 はよかつたといつてゐます。例へば「スッテラダラス」「祖國の花嫁」（四）自然の山河その美しい映畫はよいといつてゐます。例へば「綴方のアルバム」「結婚の宿題」に現れる自然の景色美とか、唐人お吉に現れる洪水の場面風景等（五）可憐な少年少女の無邪氣な場面の現れるもの。

例へば「小公子」「アッ・サリー」における女學生の朗かな態度としてゐる點等（六）音樂映畫（七）演のうまいもの（八）好きな俳優の現れるもの。

以上 のやうな事が大體よい映畫だと判斷させる原因となつてゐるやうに思はれますつまり概して筋書の良いもの、俳優の演技、實景、撮影技術等の本質的なものによつて批判を下してゐるので、全體的に見て映畫に批判を下す者は少い。

では逆にどんなのがつまらなかつたか、或は惡かつたかと云ふと

（一）外國映畫における字幕な場面（二）筋書がよく分らない、ボンヤリしてまとまりのないもの（三）時局物であり乍ら強い感激性のないもの（四）期待外れのもの（五）有閑マダム的なものや

戀愛 至上主義や自由結婚を扱つたものはいやであると云つてゐます。

以上述べた處で判るやうに、女學生の映畫觀は決して大人の考へる程小兒病的ではなくむしろ割合健康である事が知られます。

故に映畫法の運用に當つても徒らに抽象的、劃一的に陷らぬやう兒童、或は青年子女の嗜好をよく調査してその取捨選擇を誤らないやうにして欲しいものだと思ひます。（東京文理大教育相談部・竹中玉一氏談）

家庭看護學紙上講座（三）

醫博 山本杉女史指導

健康狀態を知る

大便は病氣の性質を知るに大切です

◇……尿は健康のバロメーターのやうなもの。健康體の尿は淡黃、淡黃褐色で一種の臭があり、暑さ寒さで、また飲みもの丶量でその排泄量に多少がありますが、大體は一日に約八合位のものです。もしこの量が約三合八勺以下となるか、一升六合以上になれば病的です。また病氣によつては全然尿が出なくなつたり、知らぬまに漏らしたりすることもあります。

◇……尿量がへるのは發汗、下痢、發熱の時などにおこりますが、ひどく減れば腎臟炎、心臟障碍を考へねばなりません。もし尿が長い間連續的に減ると尿毒症を起す心配があります。反對に尿量のますのも一時的なればよいのですが、糖尿病や萎縮腎などを考へねばなりません。尿意が度々おこるのは尿道や膀胱に病氣のあるときです。尿量に變化のあるときは早朝の尿をとつて醫師の檢査をうけるやうにしたいものです

◇……大便は健康者なら一日一、二回、淡褐色で形があり、食物の殘滓と消化液の殘りと腸内の細菌がまじつてゐます。大便の狀態は病氣の性質やなりゆきを知るのに大切な役割をもつてゐるので、病人の便は必ずこれをみとゞけ、必要の場合は醫師に診せるやうにします。殊に小兒の場合は、食物のすゝめ方に身體の具合を知るのに大便をみるのは非常に重大な意義があります。安靜を要する病人では尿便とも必ず床の中で差込便器を用ひてとること。そのとき身體を冷さないために足を包むやうにせねばなりません。洩らすやうな病人では、下敷をしき、肛門の周圍に脫脂綿をあて、その上からおむつをあて丶度々しらべ、清潔なものとかへねばなりません。

カー英大使のお若い妻君

援蔣はおよしよ

マリー夫人

上海、香港、重慶と支那を飛び廻つて援蔣に憂身をやつしてゐるカー英國大使は寫眞のやうにもう相當の年輩ですが、お嫁さんは寫眞のやうに若くて美しい人です、マリー・テルザさんといつて芳紀（？）正に廿八才ださうでチリー生れの麗人です、さうです、皆さん、マリー夫人に援蔣の愚かさを警告する手紙でも送つて見ては？

カー英大使

○○○○○○

どんな結婚が最も幸福？

米國で職業別の幸福率調べ

○○○○○○

【ニウヨーク發同盟】結婚が旨く行つてるか何うかは、お互の性格、年廻り、その他種々の條件もあらうが職業で調べると何んな事になるかとシカゴ大學のバアゲス博士及びコルネル大學のコトレル博士が五二六ケースを調べた結果を『結婚の幸福と失敗』と題する一冊の本に纏めました、夫れに依ると調査ケースのうち妻の側からみて五五パーセント、夫の側からみて五二パーセントは至極幸福で二四パーセントがとてもみぢめな結婚といふ事が分りました、と同時に全體の五分の二は財政上にも問題ない幸福な生活を送つてゐました、只結論として若者が驚いたことは結婚の幸、不幸は女よりも男の側に原因のあることでした

一、家族關係

調査家族中夫婦の兩親が幸福な結婚をしてゐる場合は、大體に於て若夫婦はいゝ

二、社交關係

教會へ行く連中や日曜學校に行つてゐたものの結果はいい又友達を澤山もつてゐる連中もいい、一番惡いのは、夫婦の一方が他異性の友人を一人も持つてゐない場合だ

三、年齡

二十八から三十迄の間に結婚したものがいゝ、二十一以下で結婚したものは大體に於て不幸だ、年齡の相違も調査家庭で三つ以上だと面白くない

大體に於て「ロマンチック」な結婚よりも友愛結婚の方が好成績である、肥つた同志の夫婦より痩せた同志の方が幸福率は多かつた

四、職業

女教師は結婚してからも夫婦仲がよかつた、男の職業としては化學技師、教授、牧師等が幸福な生涯を送つてゐる、之れは收入が一定確實だからだが、之に反し勞働者、行商人その他收入不定で時には素晴らしい收入があるので、どうも夫婦關係がグラつくらしい、左に幸福率を職業別で掲げる

幸福率八〇パーセント以上、化學技師、牧師

七〇パーセント以上、教授、體育コーチ、電氣技師、教師販賣人、教育關係官吏

六〇パーセント以上、計算係土木技師、事務員、醫師、銀行員、新聞記者、醫學技師

五〇パーセント以上、簿記係齒科醫、小賣店主、職工、伍長、郵便局事務員

五〇パーセント以下、勞働者旅行販賣人、大工、自動車機械工、土地世話人、音樂家、理髮人、株屋使用人

○○戰爭と新兵器○○（六）

成層圈ロケット

ソヴイエトで訓練中

ロケットの巻

ソ聯のロケット研究も他國と同樣に非常な馬力をかけて研究してゐます、その中でも有名なのは成層圈ロケットでありますこれは宇宙を航行が出來るやうに非常に丈夫な構造をロケットは持たなければなりません、それでこれに着眼して、成層圈ロケットを研究し始めてゐるのです、これは最も成績が良く飛行機よりも將來は盛んに用ひられるものと考へられてゐます

◇

これを研究してゐる人では、レニングラードの航空學校で航空學教授をしてゐるニコライ・リニン教授であります、リニン教授によりますと、飛行機を成層圈に飛ばすよりも樂であり、しかも飛行機の速さよりも早いところから、地球を一廻りするには僅七、八時間でよいなどといつてゐます、ソ聯は非常に國民に航空思想が普及してゐるばかりでなく、實際に國民がこの航空員として青年團は參加する義務があるのです、全國の男女青年は皆この航空事業のために全力をそゝいでゐます

◇

これ等はいづれも普通の飛行機でありますが、しかしそれに加へて、今度は成層圈ロケット飛行機の訓練が注目されてゐます既に一般青年團はこのロケットの知識も授けられ、十分にその知識を持つてゐます、ロケットは夢の航空機でも最早や決してありません、實際にかうして訓練や知識が普及されてぐん〳〵研究されてゐるのです、こゝで特に強く我々が考へなければならぬことは、かうした新しい兵器の發達は、研究者ばかりがどんなに頑張つても思ふやうにうまく行かないので、國民が全部その知識を理解して、これを援助しなければ駄目なのです

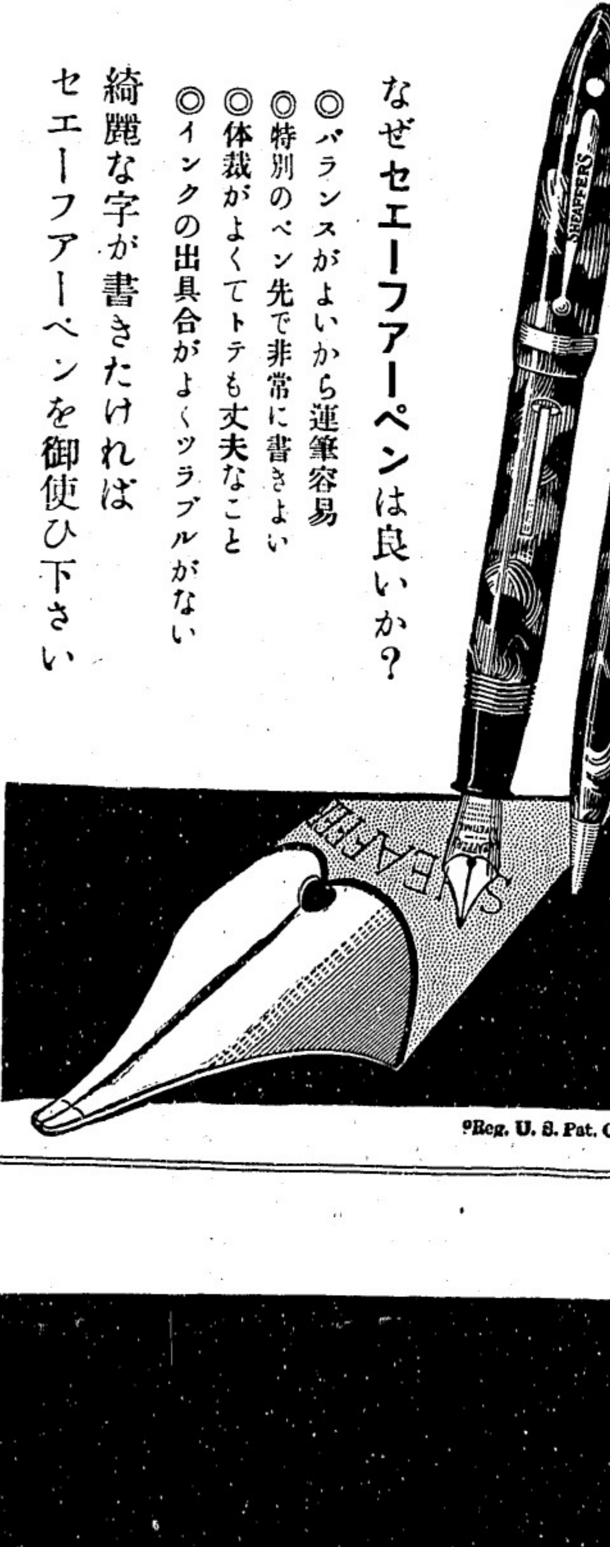
◇

これは如何なる兵器でも同樣であります、いよ〳〵兵器は科學の粹を集めて完全なものが出來つゝある今日、我々も他國の銃後の國民に負けるやうなことがあつてはなりません、一つの爆撃機よりも二つの爆撃機があれば結構ですが、この爆撃機を手玉に取れるロケット兵器があれば一層良いことを知つて貰ひたいのであります。（了）

最も理想的なペンとして文筆家に愛用せらる丶

‖セェーフアーペン‖

絕對保險付の最優秀品！



ºReg. U. S. Pat. Off.

なぜセエーフアーペンは良いか？

◎バランスがよいから運筆容易
◎特別のペン先で非常に書きよい
◎体裁がよくてトテも丈夫なこと
◎インクの出具合がよくツラブルがない

綺麗な字が書きたければ
セエーフアーペンを御使ひ下さい

‖學生さんに‖

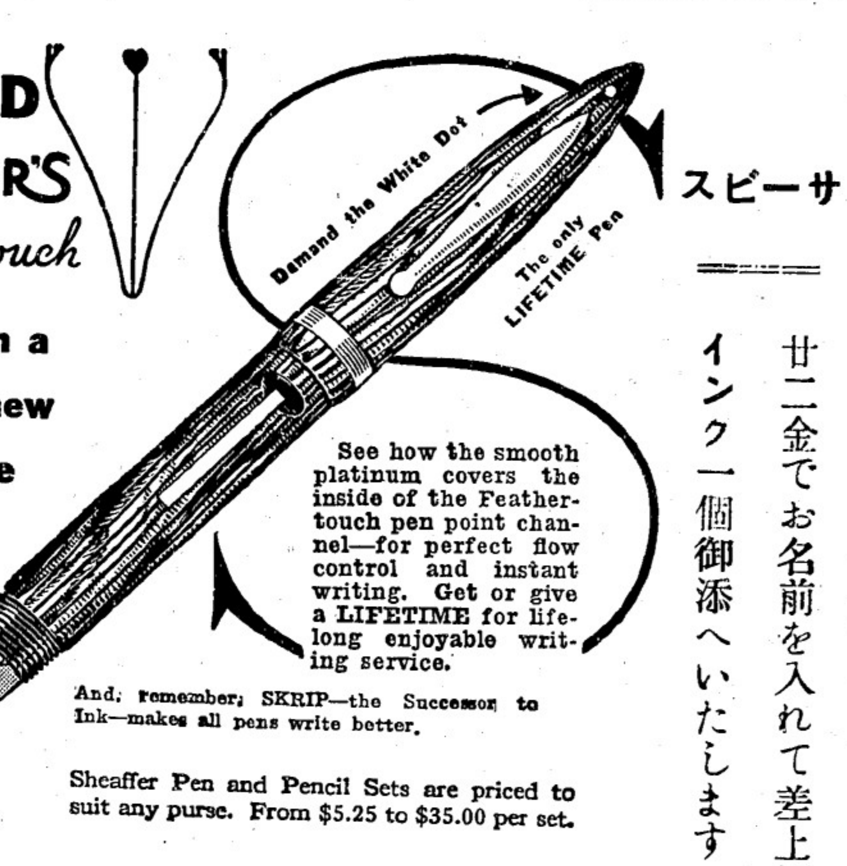
セエーフアーペンでウンと成績を擧げて下さい、弊店では當分の間學生樣には御買上げのセエーフアーペンに

サービス

廿二金でお名前を入れて差上げます
インク一個御添へいたします

DEMAND
SHEAFFER'S
Feathertouch

More than a name--a new principle



See how the smooth platinum covers the inside of the Feathertouch pen point channel—for perfect flow control and instant writing. Get or give a LIFETIME for lifelong enjoyable writing service.

And, remember, SKRIP—the Successor to Ink—makes all pens write better.

Sheaffer Pen and Pencil Sets are priced to suit any purse. From $5.25 to $35.00 per set.

PEN
Skrip
THE SUCCESSOR TO INK

‖價格‖

ペン・ペンシル―セットの部
一七、五〇 一四、〇〇 一二、二五 一〇、〇〇 九、〇〇 六、五〇 五、二五
ペンの部
一二、五〇 一〇、〇〇 八、七五 六、〇〇 五、〇〇 四、〇〇 三、二五
ペンシルの部
五、〇〇 四、〇〇 三、五〇 二、五〇 二、〇〇

晩市パウエル街三三一
電話ツリニチ三一一二
新見商會

歸道館主催 柔道大會
明後土曜日夜日本人ホール
各軍の新陣容決定

歸道館主催秋季柔道大會は明後十八日（土）午後七時半から日本人ホールで火蓋が切られるが本日歸道館本部から各支部陣容が發表された

◇キツラノ支部

昨年度乙組の優勝旗であつた本年は前野三段指揮の下に甲乙兩組とも昨年にもまして意氣高く一擧相手を壓倒せんとしてゐる

乙組　　甲組
大將　富田　實　中野民雄
副將　木村勝男　平原外喜男
吉田國藏　八木八郎
中村　勇　門永　功
山田　勉　高橋康太
先鋒　兵頭　兄　西崎　滋
補欠　大谷治雄　中野正雄

◇フエアビュウ支部

日系の華稲津三段、西原康雄初段の一糸亂れぬ統制下に猛練習を重ね僅いかに難攻不落を誇るとて新陣の強豪にわけてくれると其の意氣や壯し

乙組　　甲組
大將　門川清一　森　修
副將　高橋　寛　坂本秋信
西川　實　朝長安美
吉村上三　丸橋政人
林　辰雄　大倉正男
先鋒　新井芳夫　大橋　傚
補欠　大橋正雄　末藤　明

◇スチブストン支部

昨年は連敗の雪辱をみごと甲組優勝により成就、乙組は三回戰に激戰して惜敗した、本年の作戰は土井初段の胸にあり連勝するか？

乙組　　甲組
大將　坂本　正　吉田健次
副將　島根公夫　水口　勝
谷崎光造　倉本春雄
中津義治　谷石　清
先鋒　水口秋三郎　廣瀨廣三
補欠　岡田繁三　村上要二
中出三郎　宮下鄕美

◇歸道館本部

甲乙共に昨年度の榮冠を失したが本年は河野二段、石橋二段の作戰により少くとも乙組だけは堅固不拔、確固たる自信を持つて餘裕綽々

乙組　　甲組
大將　今井佐一郎　畑下　修
副將　及川　誠　對島讓二
淺田加奈男　長谷川進
鹽崎文春　安部德助
畑下　修　鹽崎文春
先鋒　堀部清男　磯谷浩良
補欠　佐藤　健　廣田將記

（以下本日第八面へ續く）

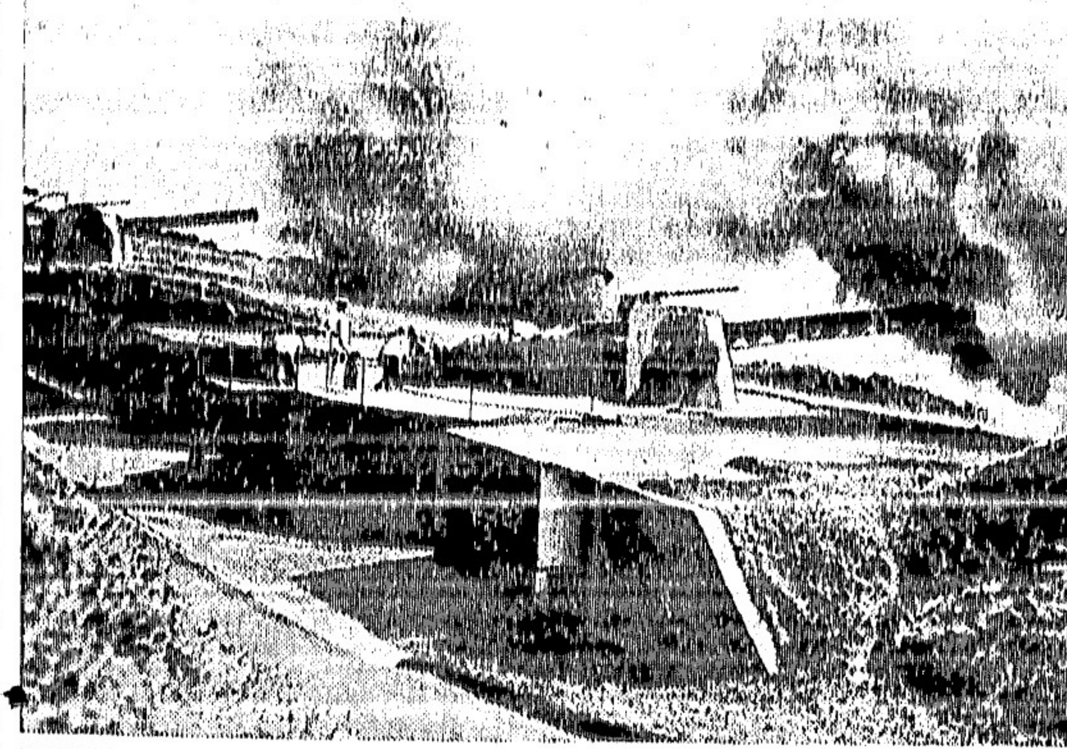
歐洲戰爭は
長期戰爭を期待せず
我々はすべて計畫しなくては——
藤原銀次郎氏の談

滿洲——藤原銀次郎氏は最近滿洲地方にやつて來たが次のやうな話をしてゐる

今回の歐洲戰爭はドイツ側でも英佛側でも本腰で戰爭をやる氣がなく、双方から戰ひの眞似をやるやうなところがある、少々素人としては齒痒いやうでどうも本當の戰爭にはならないかも知れない、此の際我れ〱としては餘り長期戰爭の期待なぞせず、此うち平和になるものと見てすべての計畫を樹てる方がいゝやうに思はれる、アメリカに於ても所謂大戰景氣といつたやうなものはサッパリ見受けないやうだ、東部の株式市場なども大體に於いて氣迷ひ氣味なところがある、まあ見透しがつかぬといふのが本當かも知れぬ

藤原銀次郎氏

日米通商條約問題に就いては日米通商條約は一日も早く解決したいと御同樣考へてゐる次第だが、何分この問題に就いては米國側にいまだその機運が熟してゐないやうに思はれる、今少し手を出さないで色々準備をする方がよからう、暫らく時機を待つ——これが賢明だね、そして時機が來たら一氣に働きかけて解決する方がいゝ、結局のところ現在の狀態から言へば一ケ年の暫定協約としてその後毎年々々暫定協定位のところで落ちつくんぢやなからうか、要するに米國も日本に物を賣らねばなるまいし、日本もまた米國へ物を賣らねばならぬ、双方ともに商賣はせなければならぬので左樣に心配しなくてもいゝのぢやないかと考へてゐる、この際我々日本人としては米國との親善は飽まで希望するが問題の條件如何によつてはたとひ先方から持ち出されてもこれを斷る位の決心で居りたく思ふ、日本國民たるもの此の位の氣位がないといけない、我々が長い間の經驗からいへば銀行なぞへお百度を踏んで金でも借らうとすれば銀行はいゝ返事をしないで高くとまるものだが、却つて打ッちやつて置けば金は要らないかと言つて話をもち込むこともある、昨今米國の對日感情は面白くないさうだからまあ當分の間放ッとくんだな……


英國沿岸防備用の要砲、寫眞は今回初めて公表さる

ヒトラーから
回答到る

ベルリン十六日——ヒトラー總統はベルギー、オランダ兩元首の和平提唱に對し英佛政府が之を拒否したので同問題は解消のやむなきに至つたものと看做し昨十五日午後リッペントロップ外相を通じ駐獨ベルギー大使並びにオランダ公使に對し此の旨通告した（寫眞はヒトラー）

カポネ出獄
シカゴで殺人
何か關係か？

アメリカ禁酒時代の有名なシカゴのギャングスター、北の牛耳は本にまでなつたアル・カポネが所得税脱税の廉により有罪となり監獄にブチ込まれたのは今から八年前であつた、懲役十年の刑を受けて入獄、流石の大ギャングスターも刑務所ではオトナしく勤め刑期七年餘を終るか終らぬのに本日出所を許され今朝三時五十四分ペンシルバニア州ルイスバーグの刑務所をコツソリと出て久しぶりで娑婆の空氣を吸つた、世は禁酒時代去つて今はアメリカでは酒も大ピラで飲めるので酒密賣のギャング商賣も出來なくなつてゐるところが最近シカゴでカポネに對する惡い證言をしたシカゴの金持ちエドワード・オヘラが三人のギャングスターに殺された事件ありシカゴのギャング再び暴れるぞばかり大騒ぎをやつてゐる

内山博士
來晩
内山健六氏の女婿

先日來ロイストンの内山健六氏宅で汎太平洋外科醫ホノルル大會報告の整理中であつた福岡醫大の内山八郎博士夫妻（夫人は健六氏息女）は愈よ米國方面へ約一ケ年の豫定で研究に赴く事となり本朝嚴父健六氏同伴出晩正午過ぎ本社を訪問博士は語る

「二三日當市に滯在して桑港、ロサンゼルスを經て東部へ行き約一ケ年米國醫界の觀察研究をするつもりです、福岡醫大の外科は日本で一番といはれる程進んで居ます、今次事變に關係して新手術法など發見されましたが概してこうした事變中には研究的事業は遲れるやうです、何れにしても日本の醫術特に外科は最近非常な進歩で、世界各國に比べて何等の遜色はありません」

ドイツ海軍の
機雷敷設權
スエーデン海岸に

ストックホルム十六日——過般來ストックホルムに於て續行中のドイツ・スエーデン通商交渉は大綱の決定を見たので一旦會議を打切りドイツ代表團は昨日ベルリンに歸還、右に關しスエーデン外務當局は更に双方に於て細目協定に就き研究の上再開する旨言明したが再開の期日は未だ決定されてゐない、尙當地外交消息筋の情報に依れば今次交渉に於てドイツはスエーデンに對し對獨鐵鑛供給確保とスエーデンのバルチック海岸領海三哩外に機雷原の敷設承認を要求したが、スエーデン側は領海四哩説を主張、本問題に就いては兩者の間に未だ意見が一致してゐないと云はれる

九重會慰勞會

九重會は來る十九日午後二時からフエアビユウ佛敎會ホールで會員家族一同の親睦茶話會を開催、會費一家族廿五仙、菊作り自慢、餘興、來年度競技花變更等に就き話す

バード少將
南極領有に出發
第一船は昨日出帆

ニウヨーク十六日——米國のバード少將が南極に恒久的足場建設を目標として組織した南極大陸の『リツル・アメリカ開發隊』の一番船ノース・スター號（一四五〇噸）は昨十五日午前ボストン港を出帆壯途に上つた、バード少將自身はヒラデルヒア又はパナマから乘り込む筈で、二番船ベア號も來週出帆の豫定である、今回の壯擧の目的は米大陸から濠洲への最も安全且つ便利な南極經由航空路の開設と飛行基地設置に關する調査及び領土主權は發見のみでなく其の後の占有使用の事實によつて完全に主張し得るものとなると云ふ國務省の宣言に從ひリツル・アメリカ完全領有の既成事實を作らんとするもので乘組員は何れも十三ケ月間南極滯在を申し合せて居りその後は交代の別動隊が到着して引繼ぐ豫定である

クリスマスの學校ハラデー

今年クリスマス小中學校休暇は十二月十五日から一月二日までと決定した旨晩市學務課から發表された

◉健康相談◉　明晩八時より九時半迄日本人健康相談所（東ペンダー街四七四）にて診斷を行ふ

卅年前の今日
大陸日報より

◇明治四十二年十一月十六日　ビーシー電話會社はビクトリアまで海底電信を敷設する外シアトルまで直線を完成することに決定

人生のツラウト釣り

釣天狗で有名なN氏が先日二つに割つた六フィートばかりの竹の先を杓子型に、その中は丹念に削つてしなやかになるよう極めて削つてゐた、何れはツラウト釣りに用ふるものとは想像はついたが釣天狗の通有性でN氏もまた釣の機密とあつてなかなかその秘法を敎へない、それから四、五日したある日N氏にあひ、あれは一体何でしたと尋ねると初めてその眞相を公開してくれた

◇

N氏の話によるとあの竹は言はゞ『ツラウト呼び』とでもいふべきもので河中に投げ入れた釣竿の側で、この竹先の杓子で河の水を掬ひ上げては落とす、すると竹の中はしなやかに削られてゐるので其の彈力で杓子の中の水は丁度雨のようになつて河の水面をたゝく、雨を好むツラウトは水面に落下する水滴をテッキリ雨と思ひ込んで寄つてくる、所が側には餌のついた鈎がありそれに喰ひつくといふのである、これは靜岡縣地方で鮎釣りに使用してゐるのをある人から聞き早速應用したのであつたが不幸にしてN氏には効果がなく一尾も釣れなかつた

◇

N氏によると僅か六フィートぐらゐの竹では雨を降らす水面は極く手近の所で餌をつけた鈎の投げ入れられてゐる場所とは餘りにも距離があり寄つて來たツラウトも餌のありかを知らずに居る、そこで河中に舟を浮べて釣る場合なら鈎を遠方に投げ入れず、竹で降らす雨滴と鈎ははゞ同場所であるから此の竹の使用は確に効果はあらうが岸釣りでは駄目とのことであつた

◇

ツラウト釣りには不幸にしてまだ一回も出かけたことのない私ではあるがN氏のこの話を興味を以て聞いた、それは釣の醍醐味に引き入れられたのではなくて、この話の中からわれ〱の社會の中にこれに相似した事象のあることを想起せしめられたからである、N氏の話ではあの竹は確に効果的ではあるが、それを用ふるに場所を間違つてゐた、つまり適材を適所に使用しなかつたが爲めであるといふのだ

◇

われ〱は私的生活に、また公的生活にある目的を得んがためあらゆる小細工を弄する場合があり勝ちだ、而もその小細工が大局を忘れた餘りにも小乘的なものであるが爲め、あせればとてもがけばとて、目的に到達出來ないばかりか、それとは凡そ反對の方向に押流される場合が多い、自己の才能を見究めてその適材を適所に用ふるを忘れて、一部局にあくせくしても、それは結局前述の『竹』同樣である、これでは『人生のツラウト』は釣れないのである　【エフ生】

水の入らぬボーイ用學校靴
八…十半　一、九五　二、一五　二、六五
十一…十三半　二、四五　二、九五　四、二五
一…五　二、六五　三、二五　四、五〇

スタイルの好いガール靴
八…十半　一、一五　一、五〇　一、九五
十一…三　一、三五　一、七五　二、二五　二、四五
三…六　二、六五　二、九五　三、四五　二、九五

ベビーさんの靴
〇…五　四〇仙　四五仙　五〇仙　六九仙
一、〇〇　一、三五

小澤靴店
晩香坡市パウエル街二四四　電話シー一三二〇

金、土大安賣（十一月十七・十八日）
イワシ蒲燒　一袋　五
コンフレツキス（ケロツグ）二箱　一七
フラワ　七斤袋　一八
サカイ・サモン（小）二鑵　四五
パアインアプル　一鑵　九
トイレツト紙（大）四ケ　二一
京の石アラレ　一斤　二九
トーロトー・マシ・マロー　二斤　二七

良品廉價の グロセテリヤ
松宮食料品店
パウエル街二〇五　電話シー三五九七

日本行各汽船切符販賣
日本郵船、シーピーアール、
▲再渡航證明、妻子及使用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等屆書、加奈陀政府出生屆手續
▲歸化證にて當國旅券下附及妻子呼寄手續 其他一般代理
晩香坡市パウエル街三三五
中山義一事務所
電話ツリニテー〇三九四
住宅ハイ一二〇七アール

Manufacturers Life
○御子樣の貯蓄心涵養のため
○御孃樣の結婚費用意のため
○他日事業の資金に當てるため
○來るべき老境の準備のため
○御家族の生活安定保證のため
當會社は世界卅二ケ國及
日本の大都市に支店又は代理店を有します
マニュファクチャラース生命保險
晩市アレキサンダー街三〇二　電話ツリ〇二八三
代理　信夫保險事務所
日本人唯一の保險士　信夫三郎

大勉強
杉山運送舍　舊天野運送
晩香坡市パウエル街二六八
電話ツリニチー三〇五九

◇強力改良害虫驅除新劑液製
無味無臭無色人畜絶對無害
◇フライオサイド　一小鑵二九　大鑵四九　一ガロン三、五〇
油虫南京虫蟻蛔蛾蚊其他凡ゆる害虫の強力殺虫劑
食物衣服に無害野菜草花用としても賞用されます
△フイルム各種
△現像燒付引伸
△ワタマンペン
△文房具小間物類
文化商會
パウエル街二五〇　電話シー四〇八七

新着品御案内
▲陶器類がいろ〱參りました
○摺鉢　○飯茶碗　○汁茶碗
○大皿、中皿、小皿　○土瓶
○丼鉢　○丼茶碗　○湯呑
○重ね鉢　○德久利　○盃　○茶呑茶碗
回週間特賣品（現金御買上に）
諸物價高騰の折柄ながら逸せず御買上下さいませ
◎アワビ　一鑵　廿五仙
◎ベーキン粉　一鑵　十六仙
◎ココア　一鑵　十八仙
優良品を最も安く
香村商店
パウエル街二六九　電話ツリニチ〇〇九二

造船及修繕
日發ヂーゼルエンジン總代理

御料理
時節向き「吉野」獨特御料理
よせなべ　若鳥の水たき

ピアノ教授
經驗は豐富　教授は親切

「米は米屋へ」
好評の新米入荷
東ヘステングス街六四九
電話ハイランド〇八八九
現金で安く賣る店

御結婚式お支度
御披露用日本振袖
長髮短髮 無機械及新式 ミシン入購
オイルパーマネント

助產
松岡久枝
電話シーモア五八四六アール
キーファー街三三三
高橋貴志子
電話ハイランド三五九八エム
マギール街三三一五

北海の我が軍 破竹の勢ひで猛進中

敵の大將は蔡廷楷、十万の軍を擁す

西南方十哩の地點で激戰

東京十六日（同盟）——大本營海軍報道部發表——〇〇攻略部隊は昨十五日正午頃より海軍航空部隊協同の下に泊地發〇〇の艦艇は同日夕刻同島を完全に占領せり、海軍航空部隊は同部隊上陸に先立ち同島に對し掩護爆撃を實施しトーチカ陣地に據る敵を悉く破壞殲滅せり

東京十六日（同盟）——南支廣東省の北海方面に敵前上陸した我が〇〇部隊は敵第十六集團軍總司令蔡廷楷の指揮する北海、合浦方面の第百七十五師、欽縣、欽州一帶に據る新編第十九師及びその南方に蟠踞する第百八十八師其他約十萬に及ぶ各地區團隊が各所に配備され陣地を構築し必死の抵抗を試みつゝある中を一氣に突破し破竹の勢を以て〇〇に向つて猛進を續けて居る

東京十六日（同盟）——我軍の北海方面上陸と共に即時大日本軍司令官の名を以て民衆並に支那軍將士に告ぐる布告を發し「廣西省民は抗戰の無益なるを悟り我と提携して新中國の建設に協力すべし、日本軍は支那民衆を敵とするにあらざるも敵意を抱き反抗するものは斷じて容赦せず徹底的に膺懲すべし」と發表した

香港十六日（同盟）——日本軍が廣西省北海附近上陸に成功したことに依り廣西省民は全く周章狼狽の模樣で昨十五日午後廣州灣から當地「チャイナ・メール」紙に達した報道によれば北海西北方欽州の地點に於て日本軍との間に激戰展開中であると報じ、また日本軍の他の一部隊は北海の西南方十哩の地點にも上陸しその先鋒隊は何等抵抗を受けることなく既に北海郊外へ達したと報じて居る

東京十六日（同盟）——當地に達した支那側情報に依れば北海上陸の急報に接した蔣介石は周章狼狽直に第四戰區司令長官張發奎を初め第十六集團軍總司令蔡廷楷に對し欽廉地方（北海及び欽縣方面）へ增援軍急派を嚴命し重慶軍政各機關は大動搖を來してゐると云はれる、蔣介石の嚴命に接した防衛任務たる蔡廷楷は麾下の第四十六軍（百七十五、百七十、新編十九の各師）及び第三十一軍（百八十八、百三十一、百三十五の各師）に對し守土抗戰の嚴命を發したと云はれる

北海上陸の我が軍は

欽縣を衝き『南寧』に至る？

昆明空襲の基地を作らん

〇〇洋上にて十六日（同盟）——時を遡つて去る十日夕刻に至り突如南支欽州灣北海附近への奇襲作戰は實に涙ぐましい險惡な協力の精華であつた、〇〇南端〇〇港より出撃した我が強力な大艦隊が命令一下の隊形、折柄天候は次第に險惡を加へ（波つて突風怒濤を加へ篠つく冷雨が艦隊の出撃を洗ひ始めた、わせる勇士を激勵して身動きならぬ艦艇も木の葉のやうに揺れながら南支那海面を押し進んだ、深い夜霧の中に黙々と進む、十五日未明作戰地點に投錨するまで天候は遂に回復せず其の間にあつて海の鷲の辛苦は言語に絶するものがあつた、斯くて海陸協同一糸亂れず大艦隊を目的地に誘導し得たのであつた、敵ならずとも誰かこの天候の下に此の決死的大作戰の敢行を豫期したであらう、斯くて天佑神助と勇猛果敢な皇軍將兵の奮戰により南支に殘された唯一の要港北海は我が蹂躪下に置かれた

◇

廣東十六日（同盟）——〇〇の東南端〇〇港より行動を開始した皇軍の大艦隊は風雨吹きすさぶ南支那海の怒濤を壓して堂々行進、昨早曉突如として東京灣北岸の〇〇にその威容を現し午前五時、時はよしと決死の勇士〇〇名は怒濤を蹴つて舟艇に分乘し敵前上陸を敢行、第一線部隊は直に進擊、所在の敵を蹴散らしつゝ南支那抗日の牙城〇〇（欽縣？）へ向つて猛進中

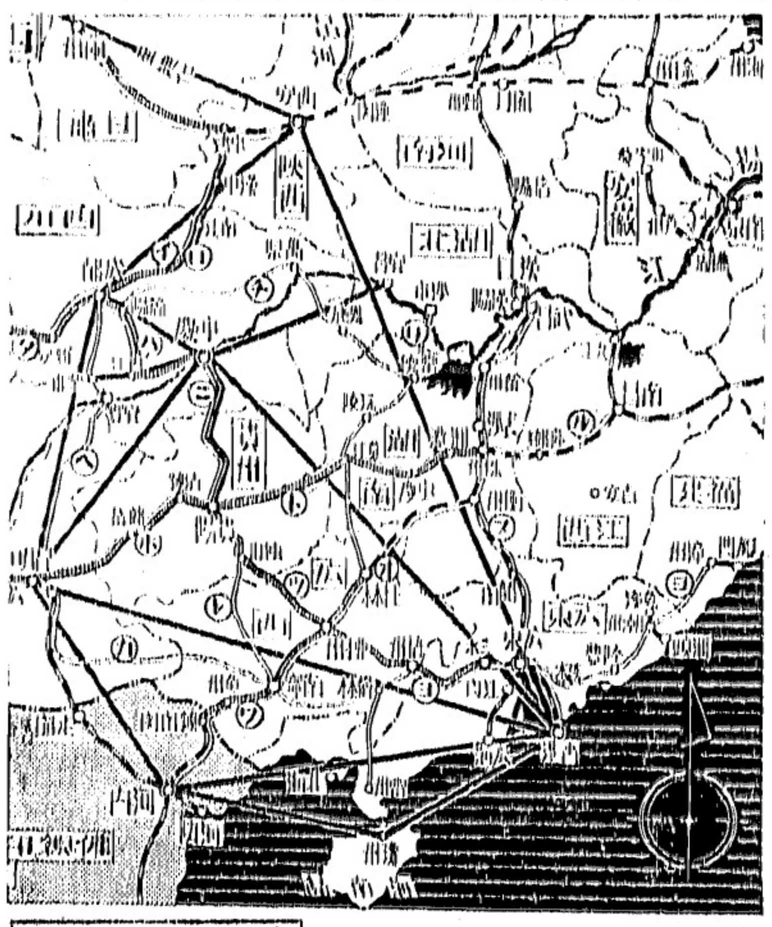
敵の牙城に向け息吐く間もなく猛進中の我軍は陸の精鋭〇〇部隊、〇〇部隊、更に海の勇猛〇〇部隊である

ドコを衝くか

北海西方に敵前上陸した日本軍は北海は元より其の北方の合浦及び北海の西北にある欽縣を衝くことにならう、更に西方の防城、佛領印度支那國境の望溪も攻略するであらうが、やがて奥深く南寧方面へ進出しないとも限るまい、佛印國境に進出することは佛印ルートに一大脅威を與へるもので同時に海軍航空隊が北海附近に基地を作りつゝある事が同ルートの制壓上重大な役目を果す事を意味する、敵據點昆明では驚いてゐることだらうと思はれる

蔡廷楷

北海の占領は 昆明へも打擊



排日屋ウイルソン 州議會に出頭

東洋人問題を陳述

既報の如く排日屋ウイルソン等の策動に依つて晩香坡市會は市東洋人ライセンス制限に關する市條例案を州議會に提出する手筈であるがウイルソンは最近ビクトリアに赴き昨日の州議會私案整理委員會に出頭し東洋人ライセンス問題に對する市の態度を說明し

東洋人は益〻蔓り或商賣などは全く東洋人に牛耳られて居る、中にも造船界の二割八分グリーン・グロサリーの九割二分は東洋人の手に歸してゐる

と陳述して議會委員會をビックリさせた、ウイルソンは倚いろ〳〵宣傳して居るらしい

ドイツ潜水艦は 今八十四隻

海軍年鑑に云ふ

有名な海軍年鑑「ジェーン・ファイチング・シップ」は本年度年鑑でドイツ潜水艦に關して次のやうに書いて居る

ドイツ海軍は第一次大戰當時に比して今次は潜水艦戰術上に相當ハンヂキャップがある先の大戰で一九一七年の潜水艦大暴れ戰術を開始したときの潜水艦數は百十一隻であつた、然るに今次は僅か八十餘隻を有するに過ぎず、而も潜水艦に對する英國の防備は第一次大戰當時より進んでゐるからだ

そしてドイツ潜水艦の現有力を左の如く擧げて居る

本年九月三日の開戰當時　七十一隻
建造中であつたもの　二十八隻
合計　九十九隻
開戰以來擊沈されたもの（少くとも）　十五隻

以上差引き現在の隻數は八十四隻と見るのが至當だと云つてる

日本の巨大艦 四万噸四隻

ジェーン海軍年鑑は日本で昨年から今年にかけて呉、横須賀、川崎、三菱の四造船所で四萬噸の大戰艦四隻を建造して居ると報じ各艦とも十六吋砲八門乃至九門、速力三十ノット内外だと云つてゐる

ドイツ汽船 六隻を拿捕

本日英國海軍省の公表によると聯合國の海軍は先週中ドイツ汽船六隻を拿捕し海上戰は完全に聯合軍側の有利に進んでゐるとある、目下中立國海港に進入中のドイツ汽船も全く動きが取れなくなつて居る

お神輿も 收まる所へ收まるさ

ロサンゼルス——當地滯在中の大角大將の一夕談

日米關係も私が斷うして笑つてゐる時は大丈夫なんだチットも心配はないよ、それに歐洲戰爭に對して日本が絶對不介入の立場を執つてゐることは大贊成だ、日本は今迄色々と迂餘曲折の路を辿つて來たが、それは恰度お神輿だつてワッショ―とアッチへ行きコッチへ行きしてゐるが、結局收まるところに收まるんで日本は神の國だよ、これからわき目をふらず正を踏んで恐るることなく堂々と「日本第一主義」を振翳して邁進すべきだ、同胞諸君も今次事變には異常な赤誠を示され海軍でも非常に感激してゐることを傳へて貰ひたい、そして日米關係に餘り神經過敏にならず落着いて稼業に勵んで戴きたい

東洋人排斥の デマの好適例

『軍服は作らない』

昨紙報道、支那人洋服店乃至その他の東洋人洋服店がオタワ國防省の爲めピーシー州に於ける海軍將校の軍服を作つてゐると云ふ事をピーシー州議會でビクトリア選出保守黨議員アンスコムが持ち出して政府を攻擊したに對し本日のオタワ來電はオタワ軍需局で右をデマとして事實を否定し

オタワでは海軍將校軍服乃至其他の軍服カントラクトで支那人又は東洋人洋服店に注文を發したる事實なし、但し白人洋服店にしてオーダーを受けたものが支那人又は東洋人を雇ひ或ひは一部のオーダー物の作製を依賴したかドウかの點は與り知らぬ所である

と發表した、少くとも東洋人洋服店が直接オタワから注文を受けて居ないのは事實であつて恰も東洋人がこの方面に進出したかの如く變なデマを飛ばしてゐるものだ

アラトベーに 新魚工場

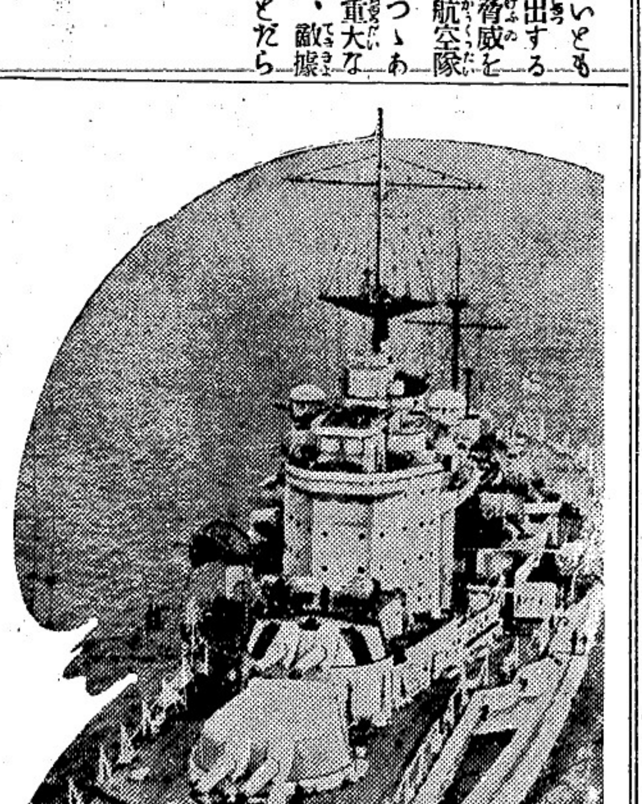
ビーシー・パッカース魚業會社は晩香坡島アラート・ベーに新たに魚肉レダクション工場を建設する事になつた、來年漁期から運轉するもので相當人を使ふ

晩香坡島大出水

晩香坡島東岸のキャンベル・リバー方面の出水は本日益〻增水の危險にさらされ降雨と共に附近住民は大騷ぎをやつてゐる、同島の西岸ゼバロス地方の出水は却て減水の兆を示してゐると

英國の主力艦 カナダの沖に現はる

巨艦フッド號其他



ニウヨーク十六日——本日の「ニウヨーク・タイムス」紙は正式發表ではないが信すべき筋からの情報として英國巡洋戰艦フッド號（四萬二千噸）リパルス號（三萬二千噸）レナウン號（三萬二千噸）其他の主力艦が最近カナダ東部近海に出沒して居ると報じて居る、フッド號を初め英國主力艦はハリファクス港その他カナダ沿岸沖に度々姿を現はしてゐるが是等の主力艦は編隊でなくて個々に行動をとつて居るもので一艦づゝ次々に廻航してゐると言はれる、右はドイツ空軍の空襲（入渠中）を受ける恐れのない加奈陀のドックで修理する上からもカナダ方面へ出動すべき可能性があると同紙は附け加へてゐる（獨逸のポケット戰艦を求めて廻航中なのかも知れぬ）——寫眞は英戰艦ネルソン號

求 經驗ある裁縫娘 裁縫店に仕事口求度 ベー三六二一アール

求 經驗ある家庭働き婦人住込み 健康な者、月給廿弗 電話アルマ〇六九七

募集 シングル切八名至急入用、前川魚店申込

曾我運送店
晩市パウエル街三八一
電話ツリ四七八八アール

結婚及葬式用花類
中村花屋
パウエル街二七〇
電話シー五九三五

不動々產賣買
各種保險代理
其他賣買證書作成登記手續等確實に取扱ひます
仲介業 水原事務所
晩市パウエル街二四三
電話シーモア三四四七
日本行船切符 取扱店

あんま
樋口圓吉
晩市パウエル街三九一
ピクトリアルームス
電話ツリニテ四五六三アール

越
運送業
パウエル街三三八
電話シー三五二八

御結婚寫眞には
特にニウヨークに於て研究した斬新なる背景と技術を用ひて本館でなくては見られぬ撮影を致します
遠山寫眞館
コロンビアスチデオ
電話シー二七三三
自宅テキスタ一八五〇エル
晩市メーン街三三二

野菜 フルーツ卸商
堅實なる經營は安心して取引出來ます
晩市東ジョジア街二五一 高橋
Coast Growers Produce Co.
251 Georgia St. E.
Vancouver, B. C.
Tri. 1970

〇土地家屋、ルーミングハウス
〇各種商店プレス屋等見込ある場所に安價な賣物澤山あり
〇火災自動車盜難保險
一般公認代理業 奧村事務所
晩市パウエル街參參四
電話シー二八壹貳
住宅ハイ三〇六三アール

Singer Sewing Machine Co.
393 Powell St. Shop Phone Sey. 1326
本社は日本人各位の御便利の爲め各種ミシンをパウエル街ショップに取揃へて居ります
新古ミシン取換へに並びに
新ミシンお求めの方は是非當店に御用命下さい附屬品一切も取そろへてあります
マネジャー 鶴田收藏
パウエル街三九三
電話シーモア一三二六
自宅ハイ五七六八エル

シンガーミシン
日本人最古の經驗ある代理人からお求めになれば即座に修繕其他の事が間にあひ皆樣の御便利御徳であります、ミシンの事は御電話次第速刻御相談にお伺ひ致します
柳澤元仁
電話ハイ五九七八アール
フランクリン街一七六六

法律事務所
エー・ヤング
エッチ
ドミニオン・バンク建物内一〇〇九號室
電話シーモア二七八七
（日本語を話します）

〇今回日本人タキシー業者は全部（メーター）に依つて料金を申受ける事に致しました
晩市日本人タキシー

名畑タキシー
ハイランド〇七六八

オーケータキシー
西第二街一六七七
電話ベエビュ五九二七

ショウワタキシー
シーモア二八八七
パウエル街二六一

高田タキシー
電話 ツリニテ〇八三六 シーモア 8757

ヤマタキシー
電話シー 一四一四 1415

村上寫眞館
旅券用寫眞（パスポート）はお早くテケツを買ふ前にお寫し下されば好き仕上、但急げば十五分間仕上げ法もあります
パウエル街二一四
電話シー七七四五
自宅フェアモント三六二七エル

ニューケーキ
滋養百パーセント
マルテッドミルク ケーキ
バナナ ケーキ
特製カステーラ 六十仙
結婚式用ケーキは美味しい品を調製致します
晩市パウエル街三九二
住よし

舞踊教授所
若柳流師匠 外海トミ
ブレキサンダ街四三三
電話ハイ五二二九エル

花
花束花輪
一切の御用は是非當店へ
晩市西第四街二三五六
（キチラノ劇場前）
金魚小鳥御卸
イーノー花屋
佐々木菊三郎
電話ベービュ七八八一

愛ちゃん

（下）

＝齋田愛子孃に贈る＝

【ウッドンアイバー】角口泰治

猛烈な閃光のスポット・ライトがいやが上にも愛ちゃんの豊麗な姿を鮮やかに浮き出させてゐる。愛ちゃんの健康ではち切れさうな體軀が場内を壓して——そのチャームと笑顏とを惜しげもなくふり撒いて、それは魔法使が魔法の衣を投げかけるやうに場内を埋めた聽衆をエンチヤントし、魅了し盡してゐる。觀衆は動かない。片唾を飮んで聽いてゐる。そしてある一定の時間が來るとハッと我に返つた樣に盛んに拍手を送つてゐる——

…×　×…

妹の双手を熱狂的に鳴らしてパチ／＼やつてゐる。痛い、といふ。その筈だ、何時もアンコール／＼で力一杯やつてゐるので人一倍叩いてゐるわけだ。それでは、と僕が秘訣を授ける。「それは他の拍手が終りかけた時新にパチ／＼やり始めるのだ、それまで一服しやうといふのだ。ズルイ拍手の方ではある。併し効果に於てまさに百パーセントだ。皆が疲れかけた時叩くのだから音が大きい。大きい新しい勢ひに力を得て、舞臺へかけてゐた皆がまた繰返し、もう一しきり猛烈の樣な、嵐の樣な拍手が續く。氣の毒なのは愛ちゃんだ。アンコール／＼で何度歌はされた事か！

…×　×…

大成功であつた。殆ど二時間といふもの、僕は白いイヴニング・ドレスの愛ちゃんの顏を、不思議なものでも見る樣に、じつと見つめたまゝだつた。それで僕でさへ知らなかつた。愛ちゃんの聲とパーソナリチーは完全に僕をノックアウトしてゐたのだ。二時間といふ時間は餘りに早く經つて了つた。それが何より物足りなかつた。ステージを埋めた幾つもの花籠のパツと眼を射る華やかさも、當夜の歌姬の容姿には到底及ぶべくもなかつたのだ。

…×　×…

日本でビクター歌謡の歌手として賣出し、更に大きな希望を抱いて二年前カナダに歸つて來た紐育で歌ふためである。折も折、支那事變の勃發は米國の對日感情惡化の餘波を受けて愛ちゃんのニューヨーク行きも駄目になつた。

その時の愛ちゃんの心境！

だが、愛ちゃんは怯まなかつた。孜々として押寄せる難關への精進は更に拍車をかけて續けられた。然し先達愛ちゃんの偉大性を僕は見る。それはどんな悲運にも逆境にも負けない努力——一筋に藝道に向つて邁進する不撓不屈の精神！それだ。

…×　×…

愛ちゃんは歸加以來長いこと沈默を守つてゐたが、決して眠つてゐたのではない。學生時代より僕の最も愛誦して來た句

今は音を忍ぶが岡の時鳥
いつか雲井のよそに名のらん

これはまた愛ちゃんの心境そのものにぴつたり當はまる句ではないだらうか？日本人ホールのサロナツ獨唱會で愛ちゃんは皆をアツと驚かせた。それは餘りにも見事な進歩振りだつたのだ既に完璧なる愛ちゃんの藝術は今一段と洗練されて、それは殆ど完全無缺の域に達してゐる。

…×　×…

今までのレコードを聽いただけで批評してゐたのでは笑はれる——今こそ磨きをかけられた金剛石として愛ちゃんの努力は燦として輝き始めたのだ。

…×　×…

とは云ふものゝ、愛ちゃんを完成せる聲樂家と呼ぶのだけは矢張り今の所躊躇しやう。愛ちゃんの力量を充分に認めないのではない。否、愛ちゃんの拂ひつゝある努力と云ふものが今後までの程度に發展するか計り知れないからだ。既に完成せる作品とするよりも、愛ちゃんの作品を未完成品としてそれに更に大きな期待をかけたいのだ。小さく完成せる多くの聲樂家よりも、未完成聲樂家としての齋田愛子の方が、どれだけ偉大か知れない、と僕はさう確信するのだ。

…×　×…

愛ちゃんは今一度生れ故郷を離れやうとしてゐる。古巣を後に自由な蒼空目指して飛び去らうとしてゐる。愛ちゃんを生んだカナダの國は餘りにオポチュニチー（機會）に乏しい國だ。だが、これから逃かんとする土地では心ゆくまで羽をのばしてやつて貰ひたい。僕達二世のためにも萬丈の氣を吐いて貰ひたい。そしてカナダと云へば齋田愛子を聯想する樣な、さうした偉大な存在になつて欲しいのだ。その時こそ、三宅氏夫妻初め在加同胞の絶えざる聲援に報ゆることも出來るだらう。

…×　×…

愛ちゃんよ、幸多かれ！

この拙き一文を先輩齋田愛子孃の新しき門出に際し餞けの言葉として贈りたい。そして同孃の健康と幸福とを祝福しやう。

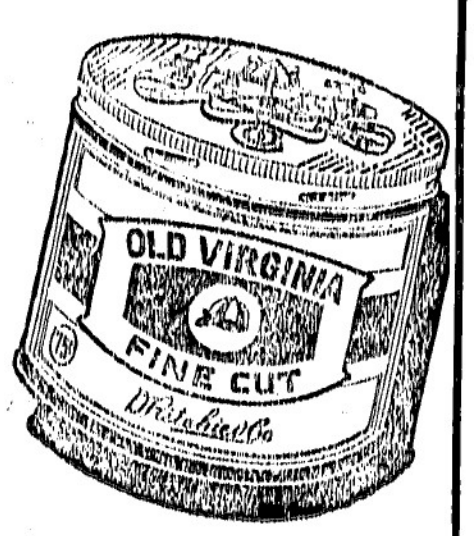
（一九三九・一一・一四）

◀是非一度

此タバコを御試用下さい

▲オールド・バージニア・ファインカットの味と香りは格別です
▲巻いて吸ふには最上のタバコです

ポケット用　十仙
ボーナ　十五仙
半斤入罐　七十五仙



OLD VIRGINIA
FINE CUT

▽…實話讀物…△

病院に働く女

二

（大阪）諫山君子

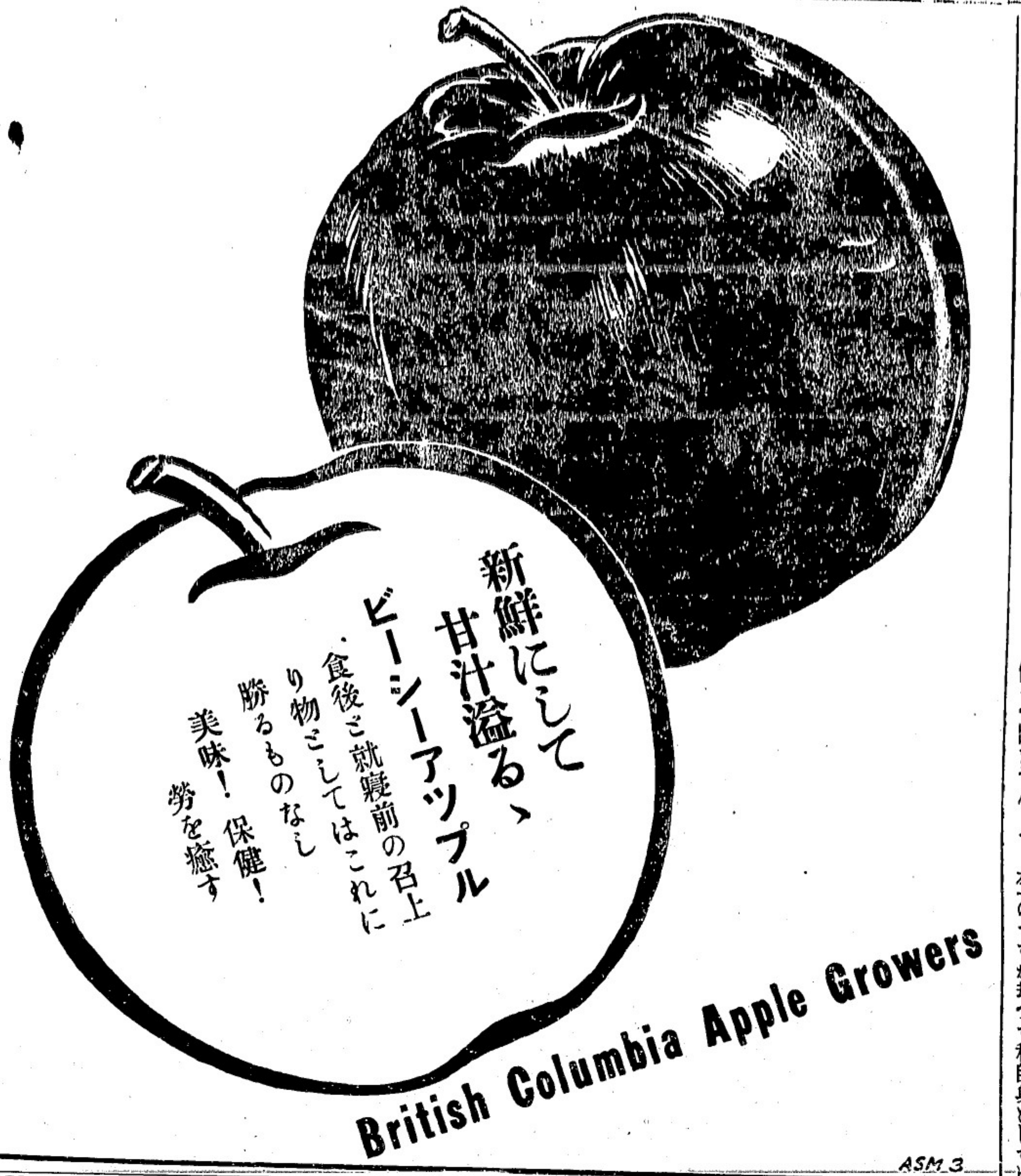
それからも、私の係が倉庫の出入と、病室へ月拂ひにて貸付けて居る冷藏庫の事務でしたので、K園で使ふ床ふきの油は勿論、明類に至るまで私の認可なしには何一つ出ません、で、本田さんは、私にたのむのを避け今一人の友を探して無理をして倉庫のものを出す有樣、そのやうに忙しい折でも頼みません、朝の挨拶は勿論、話しかけてもわざと避けて通ります、私にとつては身を切られるよりも苦しいどんなに淋しかつたか、それ迄嫌はれる理由が何處にあるのやら分りません

或時は、料理人の誘惑を退けたため、その人にも、つらく當られたり、事務所の伴さんに何やかと言ひ寄られ、熱つぽい同情してゐますよと言つてゐる樣なあの眼に會ふのが、恐ろしく努めて避けてゐたのですが、却つてそれが何時の間にやら變な仲に噂され、それでなくても氣の小さい、田舍者の私は、更に更に淋しい無口な女になつて了ひました

伴さんの當宿の翌朝、机の中に入つてゐた伴さんからの手紙を見て、驚いて監督さんの許に驅け付け主任さんとも相談の上封切らぬまゝに、伴さんに返したこともありました

事務所に勤める事二ケ月にて人手の足りぬまゝに更に給品部に廻されました、山田樣の紹介なので主事樣も重用して下さるのですが却つて私自身としてはつらい思ひを致しました

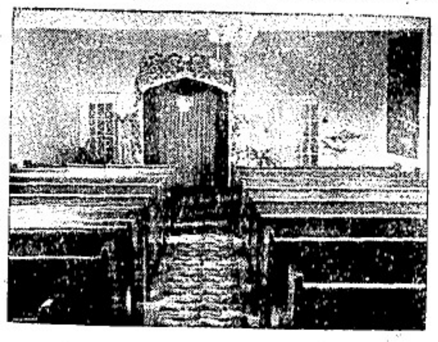
（續く）


新鮮にして
甘汁溢る、
ビーシーアップル
食後に就寢前の召上り物としてはこれに勝るものなし
美味！保健！
勞を癒す
British Columbia Apple Growers
ASM 3

埋め草

◇…印度人は聖ガンヂスの沐浴をはじめ、流れで身體を洗ふことが好きですが、これは日本の入浴などに比べてすこし變つてゐます。

◇…即ち彼等は沐浴時にも婦人は勿論男子も決して裸體になりません。そして沐浴が終ると彼等はそのずぶ濡れの衣類を着替へもしないで、ぶらぶら歩いて家に歸ります。都合のよいことには日光と空氣ですつかり乾いて了ふのです。



開業廣告

△永らくアームストロング葬儀社に働き日本人にお馴染のクリフ氏は
東ヘステングス街七四二
ホーム葬儀社
を新築、皆樣の御便宜を圖ることになりました
△設備は總て近代的
△お通夜、葬儀には禮拜堂を無料でお貸し致します
△御通夜には何十人でもお茶のサービスが出來る樣になつて居ります
△葬儀料は如何樣にも御相談に應じます
クリフ
電話ハイランド六一九四

Atlas Tire
AND BATTERY
安價にて堅牢を誇る
アトラス　タイヤー　一手販賣
朝日グラーヂ
電話ツリニチ五五四五
自宅ツリニチ四八七六エル
△新古自動車取次販賣
一九三五年式シヤブレー、ペックアップ　四百三十五弗
一九三一年式クライスラー、六シダン　三百五十弗
一九二八年式シヤブレー、コーチ　百廿弗
●御利用下さい＝キングビーモーターテスト
右のテストにて古車も新車同樣に走ります

◈佛貨公債について

歸國の際佛貨公債を御求めの方は本社にて御注文に應じます
前以て御通知下さる樣御願ひ申します
▣本日の相場　十四弗—十五弗
◆御照會の際には「ジヤパニース」と御呼び下さい
公債賣買　グレハム・マクドナルド會社
日本人代理部
晩市ホール建物内三一六—二〇
電話ツリニテ二七七一—二

御藥酒
官許　機那サフラン酒
○サフランを主劑としてこれに鎭痙劑、强壯劑、補血劑等その他十數種の高貴劑を配合せしものなれば第一血液の循環を助け、新血を補ひ虚勞を鎭靜し健忘を去り、總身を溫め、筋肉を和げ極めて氣分を爽快ならしむる鎭痙、補血、滋養、强壯の藥効を有する故に左の諸症に用ひて効あり
婦人諸病＝血の道（ヒステリー）子○諸病、產前產後、乳不足、足腰冷込、胸元差込
男女諸病＝貧血（續發性、原發性）血液不循、神經衰弱、體内衰弱、常習頭痛、眩暈、病後の恢復期
定價　一弗五十仙
新年ハガキ見本進呈
晩市パウエル街三九〇　電話シー一三八三
特許賣藥　近藤店
O. KONDO 390 Powell St. Vancouver, B.C.

PLF
ソーダスト
薪　炭
電話にて御注文下されば直ぐにお屆けいたします
パウエル製材
薪炭會社
パウエル街一三五五
電話ハイ四五六七
四五六八

廣東進軍抄　火野葦平著　八十仙
麥と兵隊　同　七十五仙
銃後國民讀本　文昭社發行　六十五仙
ユダヤ問題と日本　宇都宮希洋著　一弗四十仙
博文館發行昭和十五年　當用日記　各種
內田書籍店
電話シー四一三〇
S. UCHIDA
347 Powell Street,
Vancouver, B. C.

待ち兼ねの
新米が參りました
ふんわりと炊けて香りもゆかしい
◉松　白米　正百斤入　正五十斤入
◉梅　白米　正百斤入　正五十斤入
好評嘖々
お電話下されば直ぐ御屆け申上ます
良い品をお安く
古屋商店
バンクーバー　電話シー二九三三

◉日本行汽船發着表
船名　着　發
氷川丸　十二月十九日

◉晩市ヘネーミツシヨン・スケー（ダンズミユア街五七〇）
▲晩市發　前十時十五・後二時十五・六時十五・十時十五

▲ビクトリア行
發　前十時三十分・後十二時
着　後六時三十五分・前七時
▲シアトル行

▲ガルフ島行（月、木、）前九時　午後一時十五、（土
▲ホ村及プリンス・ルパート行
シービー（水）後八時
（火、金）後九時

◉ユニオン汽船　ブリタニヤ及ウッドフアイバー
發　前十時

◉アラスカ、シービーアル
十一月廿一日、十二月一日
◉シービー列車（東部行）

◉美府發、ナナイモ行列車
發　前十時二五　着　後五時
▣晩香坡市場

◎日本行郵便物本局締切日
◇シホ　干潮　滿潮
十六日　午前二時四〇　午前十〇二

鍔鳴浪人

（16）

角田喜久雄作
小川脩嶺畫

血飛沫（一）

長屋の上へ、侍の長合羽を纏つた、面も振ひつきたいやうな美女が裾もあらはに走つてゆくあとから、これはまたひどく薄穢い山猿のやうな子供が、

「大福喰ひてね、お餅が喰ひてね……」

雛のやうにぶツ〜口の中で云ひ乍ら飛んで行く姿は、およそ判じもの見たやうに奇妙であつた。

六鄕の渡船を首尾よく渡り切つた、河原近い掛茶屋へ、慌だしく駈けこむなり、おもんは息を弾ませ乍ら、

「今こゝを旅のお武家様がお通りになりやしませんでしたかね？」

老爺は目をぱちくりしながら

「へ？、お武家様？」

「お若い御浪人ですよ。」

「御浪人？ど……はてね……」

おもんはじれッたさうに、

「お年は廿六か七、役者のやうにつて云ひたいが、もつときりッとした御浪人……」

「さう〜、そのお方ならも少し前、たしかにお通りになりましたよ。」

（あゝ、ぢや矢ッ張り街道の方へおいでになつたのか……）

おもんは先づ救はれたやうにほッと吐息をついたのだつたが

「お前様、あのお侍様に用があるだかね？ 何しろとても足が早いお方だで、もう餘つ程先へ行かつしやつたらうのう」

「お老爺さん、わたしやどうでもあのお方様にお目にかゝらねばならない用があるんですよ。すみませんが、足の早い駕籠屋さん、急いで一挺たのんで下さい。」

「承知しましたぢやア、ちよッくらそこでお待ち下せえまし」

おもんは急に氣がついたやうに、

「あら、文ちやん、お前そこで何してゐるの？」

文三は店先の菓子箱の前へぢッと立つたまゝ、

「ねえ、小母さん。こゝの家の大福、とても大きんだよ。一口に頰張つたら、おいらの咽喉へつかへちまふかも知んねえぜ」

「あゝさう〜。文ちやんはお腹がすいてゐたんだね。お老爺さん。この子にお餅をやつて下さいよ。」

「小母さん〜！ 本當に、おいら食べてもいゝのかい？ 本當にかい？」

「いゝともさ。さアさ、たんとおあがりな。可哀さうにねえ……だけど、こりやァわたしが御馳走するんぢやないんだよ。皆なあの御親切なお侍様の御馳走ですよ。お禮を云ひ乍らおあがりよ。」

「うん〜、うめえなア。」

文三はもう口をもぐ〜やり乍ら、甘味をつくやうにさう云つた。

おもんは今更の如く懐しげに合羽の袖へ頰をあて乍ら、[illegible]と名乘つた若侍の面影へ思はずうつとり眼を閉じて、

「あゝ……わたしや何だか、急に世の中が、明るくなつて來たやうな氣がするけど……ねえ、文ちやん？」

「うむ、うめえよ。とてもうめえや。」

「はゝゝ……文ちやんたら……」

しかし、おもんはその笑ひをぎくッとおさへて店先の方へぢッと目をやつた。

ざや〜ッと殺氣立つた數人の侍が足音あらく押入つて來たのだ。

「老爺ッ！ 今こゝを浪人者が通つたであらうッ！」

◆茶バナシ◆

（東京通信）秋日麗かな十月廿六日午下がり本富士署の玄關先へ現れた髮も髯も見境の無い山男の樣な老人〃ばつたり倒れた途端に背負つてゐた風呂敷包みから飛び出したのは甁、夫がコンクリートの上でぱつかり割れた、中から出たのは水でも酒でもない、銀貨銅貨とりまぜてザッと五百六十圓、大抵なことには驚かぬ署員もこれには慌てゝ署長へ注進▲この男、お茶の水橋下に住む山田熊造（六二）といふ天下晴れてのルンペンだが、前夜のこと、ふと眼をさますと怪しい賊が命から二番目の廿年來營々ためたこの錢を盜まうとしてゐるのを發見、すんでの所で追ひ拂つたが▲今後の金まで盜むあさましい世の中となつては最早安心もならず、保管を願ひに上つたのだといふ、驚いた盜難係長、すかさず貯金局へ案内、そつくりそのまゝ本鄉郵便局へ預入貯金をさせた

▽—△

◇…空襲！のサイレンが高く〜響いて帝都がうば玉の闇の中に包まれた十月廿六日夜八時ごろ芝區三田町札の辻交番附近を歩いてゐた妙齡の婦人がウム……とうなつて打ち倒れた

◇…何事ぞとお巡りさんが駈けくりで駈けつけると本鄉區弓町一の三無職須藤俊夫君（三）の內妻大竹とし子（三）さんがサイレンの音を合圖に產氣づいての大苦しみ

◇…それつといふので救急車で本鄉順天堂醫院に入院させると十一時半オギャーと產れ出たのが玉のやうな女の子、管制中のうす暗い病院の明るい歡聲がどつと擧がつてめでたし〜

▽…都々逸…△

運命も、いたづらすぎます、苦勞をさせて、添はそで添はせず、冬になる

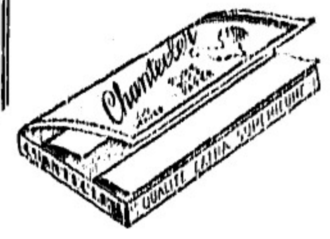
▽—△

××寄附×欄××

岡梅生氏は愛娘昇天記念に十弗ハモンド日語學校維持會へ、同氏はまた金一封をフレザーバレー日本語學校教育會へ△御手洗重哉氏は歸國記念に十五弗鹿兒島縣人會へ△永田昂月氏は全快祝に二弗宛新西院佛教青年會並びに日語學校へ△西川はな夫人は全快祝に二弗フエアビュウ佛教婦人會へ

皮膚病專門
一般諸病一切
公認電氣治療師
治療　長野才松
イーバン、イースタブルック街二〇三
電話リチモンド一〇五八アル一

◇通辯一般代理業
日本行船切符取次
濱岸事務所
アレキサンダー街二四〇
電話ツリニチ四三七四アル



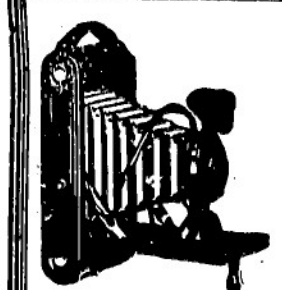
Chantecler
CIGARETTE PAPERS

早くそして手輕にシガレットを巻きたいとお望みなら是非シャンテクラーシガレット紙を御試用下さい一段と優れて居ります

自動式に紙が出て來る複式ブックが僅か五仙

新築禮拜堂
△晩香坡一を誇る近代的內部是非一度御覽下さい
△御通夜、葬儀には無料にて御貸致します
△御數十人のお茶のサービス出來る別室の用意がしてあります
△葬儀には七人乘タキシー一臺無料提供
過去廿七年間の日本人各位の御愛顧に酬ゆる爲め最善のサービスを致します
料金は五十弗、七十五弗、九十五弗以上
晩市ダンレビー街三〇四
アームストロング葬儀社
電話ハイランド〇一四一

◇ビルダー　サプライ
各種ランバー、シングル、ドアーウインド、ネール、セメント其他建築材料一切最も安價にて販賣いたします
倘住宅、鷄小屋、バーン等の請負を專門として居ります
電話或は郵便にて御通知下されば遠近に拘らず早速セールスマン出張の上見積値段運搬其他萬般御相談に應じます
ファンリッチ製材會社
瀧本與次郎
ビーシー州ポートへネーツランク・ダウンラインロード角
電話　ヤード　へネー七九
ミル　同一三五エル
自宅　同六八



現像燒付
親切　誠意
晩香坡市パウエル街二四九　電話シーモア四八八四
誠心堂
249 Powell Street Vancouver, B.C.

新年ハガキ調製致します

“ALLENBURYS”
HALIBORANGE
The nicest way of taking Halibut Liver Oil.

Haliborange
The nicest way of taking Halibut Liver Oil
HALIBUT LIVER OIL
VITAMIN D
ORANGE JUICE

PER BOTTLE 75c, $1.25 AND
藥價　七五　一、二五

各種ハリバ肝油球
五十粒　八五
百粒　一、五五
二百五十粒　三、九五

『ハリバ肝油が盛に用ひられます』
ハリバでビタミンADを補給すると皮膚や粘膜の抵抗力が強化されカゼや結核を豫防する力がつくことが充分に認識されてゐるからです
數あるハリバ肝油の中でも最も子供さんが喜んで飲み且つ効果百パーセントのハリバ肝油とオレンジを混せたハリバオレンジをお奬め致します

小生儀過日右腕の骨を折り早速林醫士の診察治療を御願致せし所僅か一週間にて全治致し林醫士の折骨打撲に對し卓越なる技倆を推稱し感謝しました林蒴臣醫士は斬傷腫物筋痛挫骨皮膚病一切及神經痛關節の痛等に獨特調製に依る藥は實に偉大の効力があり又打撲傷や挫骨筋違い等には長らく經驗あり如何なる重傷にても速かに全癒する事は廣く日本人間にも熟知の通り若し右の樣な際は早速林醫士の來訪を御願する事を御勸め致します特別に日本人を歡迎優待し親切に治療致します
スチブストン　秋本重則
恭頌林蒴臣醫妙
東ペンダー街九二二
電話シーモア二四九一

B.C. WOOD & COAL CO.
ビーシー薪炭
割薪値段
インサイド　ファー　一コード　六、五五
同　半　三、五〇
同二等品　一コード　六、〇〇
同　半　三、二五
同三等品　一コード　五、五〇
同半　二、七五
ヒーター　ブロック　一コード　五、五〇
同　半　三、〇〇
ファー　スラブ　一コード　四、五〇
同　半　二、五〇
エヂング　三、五〇
御電話下されば早速お屆けします
ウツドランド街埠頭
電話ハイ〇九一五
夜間ハイ四四一三アール

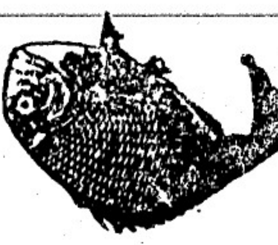
晩香坡市パウエル街三八〇
昭和倶樂部
電話シーモア四五三三
（事務所用）電話ツリニチ五五二二

先祖傳來
名灸骨接筋違
男女諸病一切及び子供のかんの灸並に慢性胃腸病、婦人病、つわり
ビーシー公認マッサーヂ
晩市プリンセス街二四一
鎌倉
電話ハイランド三〇四二エル

晩香坡市ゴーア街三二九
加奈陀日本人會
電話ツリニ〇〇七二
Canadian Japanese Ass'n
329 Gore Ave., Vancouver

和洋雜貨食料品
東洋商業會社
P.O. Box 46,
Port Essington, B.C.
主任　大橋松次郎

和洋雜貨食料品
漁船用具一切
岸本商店
ポートエシングトン郵函三一
P.O. Box 31,
Port Essington, B.C.



かまぼこ製造販賣
前川魚肉店
パウエル街[illegible]
電話ツリ〇三八七
同　〇三八六
住宅ツリ四七八七アール

御會食に
御招宴に
どうぞ
富士

樂々
晩市ゴーア一三〇
電話ツリ二七〇六

御料理すし其他
パウエル街三六二
林家
電話ツリニチー三七〇〇

スキヤキ小料理
パウエル街三三〇
こまつ
電話シー二〇〇三

御料理
日の丸
パウエル街二六六
電話シーモア三〇七九

ちり鍋、すき燒
ゴーア街一二八
玉川
電話ツリ四七九二アール

鍋燒うどん、そば、丼物一切出前いたします
パウエル街二五〇
天狗
電話シー三五三八

パウエル街三五〇
一富美
電話シー〇八三四

惣菜料理　うどん、天ぷら、そば、丼物
出前一切
現代的料亭
パウエル街二五八
つばめ
電話ツリニチー〇五六一

コーヒー、チー、パイケーキ、ハッドッグハンバガー
スターカフエー
晩市パウエル街四二七
電話ハイ四〇二二アール

大工道具一切
晩市パウエル街三六八
秋山金物店
電話ツリニチ〇二三七

御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市內は多少に拘らず配達します
パウエル街三四二
パウエルベーカリー
布田智一
電話ツリニチ五五三二
住宅西第七〇街一一九八
自宅電話ランガラ〇六〇七エル

シンガーミシン
日本人部代理人
堀七藏
西第廿街三三五一
電話フエヤ一三八六エル

和洋御菓子
○特製祝菓子並に大勉強致します
晩市パウエル街三三二
電話シーモア〇八六二
武藏屋

◆魚類
◆肉類
◆青物類
◆カマボコ
◆和洋食料品
パウエル街二六二
茶木魚店
電話ツリニチ五五四二

鮮魚　肉類　野菜類
食料品一切
パウエル街三五三　電話ツリニチー五七八四
自宅電話ハイ四九七九アル
スター魚肉店

男女着類一切
晩香坡市パウエル街三七八・三七四
澁谷商店
ツリニテー5525

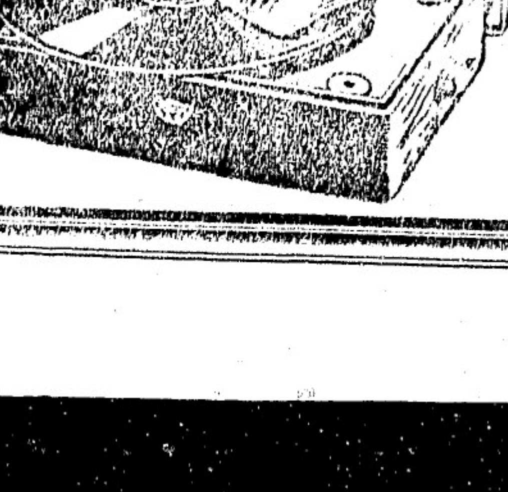
男女子供靴一切
住宅　東カドバ街七九一　電話ハイ〇九二七エム
晩市パウエル街三八六　電話シーモア八六一九
加藤靴店

和洋雜貨　食料品
晩香坡市パウエル街五六六
西村商店
電話ハイランド一二七五

荷物運搬は凡て確實　親切　勉強で　好評な
晩市パウエル街四六三
運送社へ
電話ハイ一五六六

●高等南京料理
コックは斯道の腕きゝで料理は皆樣のお口に合ふやう美味に調理　値段は大々的勉強
晩市パウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

レヂオが電氣蓄音器に使へる
ビクターレコード・プレヤー
接續、切換は簡單で操作も亦極めて簡便です調節器によりお好みの音量に自由自在に調節が出來ます
十六弗九十五仙
ビクター
レコード
パウエル街三〇一　電話ツリ〇〇五五
大正堂
ミカドツランスフアー　電話ステブストン　二



電話ハイランド一〇九〇
夜間ハイランド六〇八四エル
電話ツリニチー〇二七八エル
電話ハイ〇四二六
電話シーモア一〇八九

ノロ／＼大戰・さて銃後は？

十万のドイツ娘子軍

スカート蹴つて祖國へ鋤鍬奉仕

深窓の娘も村の合宿所へ

【ベルリン十月二十八日通信】ドイツの若者は國家のためその半年は勞働奉仕をせねばならない、去る九月四日戰爭勃發と共に發布された青年女子勞働奉仕、義務制度は深窓の娘、女學生、ショップガール、女中にいたるまで[illegible]を要望し、動員された十萬の娘子軍は今や全獨にスカートを蹴つて進軍して行く……

十日も續いた雨でめつきり寒いベルリンのステッティン驛にはパーマネント、衣類、着物の色とりどりの二十歳ぐらゐの娘[illegible]りが三百名程で「さやうなら」「さやうなら」「さやうなら」と今ボンメルン地方、ボメクェア地方の合宿所に送られて行くのだ、胸に奉仕隊の徽章をつけてこれが何回目かの輸送だ、見送りの親兄弟、友達はかの女達の好きなチヨコレートが送られないので胡桃や林檎を持つて列車の窓から差出してゐる、やがて驛長が笛を鳴らして發車を知らすとホーム一杯の見送人は後へひくどころか列車に押迫り最後の挨拶を交はす、午前十時この三輛しかない列車は汽笛を鳴らさずすべり出した、この瞬間から彼女達の胸からは白粉や、口紅と、美しい着物や、靴の名前が消えて土の勞働と政治教育の村の合宿生活とが待ち設け、そして固い畑には八千五百萬國民の食糧確保の重責がかゝつてゐるのだ

一日七時間の勞働時間と夜の政治教育は農村の勞働不足を補ふため勞働時間の方が延長されたし、六ケ月の義務期間も村の男達が戰線の[illegible]で引延ばされた、その上男の奉仕隊が鋤を銃にかへて西部戰線に出發した後の農村は冬まで引受けてやるのだ、すでに十萬人が全ドイツに分散して馴れない手に鋤鍬を取り、子供を預かり、臺所や家事を手傳つて銃後の守りを固めてゐる

またベルリンでは、夫を戰線に送つた官吏、會社員、銀行員、店主、職工などの妻達もまた街頭に出なくてはならない、ベルリン市内にも電車、バスの女車掌や女郵便配達は目につくほど多くなつた、今ドイツでは新しく生活戰線に編入されたこれらの女性が目に見えぬ敵に對して恐ろしいほどの敵愾心を持ちつゞけてゐる

長閑な西部戰線

彈丸の代りに音樂を送る

佛兵よ踊らんかな

【ベルリン十月二十六日】二十六日から一齊にベルリンの映畫館で上映されてゐるニュース映畫に西部戰線の獨佛兩軍の對峙ぶりが現はれて來るが、それはなか／＼ふるつてゐて觀客一同を爆笑させてゐる、ライン河の上に大擴聲機を備へつけダンスレコードをかけて河向ふのフランス兵に音樂放送をやる場面である、河向ふのフランス兵がその音樂を聽いて塹壕の中からゾロ／＼這ひ出して來る、射擊するのかと思つたら何んと鐵砲をはふり出してフランス兵が手をつないだり跳ねたりして河原でダンスをやりはじめるのである

このフィルムはドイツ軍の陣地から望遠レンズでとつたものらしいが傍にフランスの三色旗が立つて居り、また鐵兜の形から見てもどうもフランスの兵隊にちがひないやうだ、八百長でないかと思はれるがどうもこれが本當の西部戰線らしい、踊るフランス兵を見て映畫館の見物人一同大喜び、またこのラウドスピーカーを通してドイツ軍は毎日フランス軍へニュースを送つてゐる

「おい／＼フランスの兄弟達よ、二十五年前の戰爭を、もう一度繰返すのはお互にもうこり／＼ぢやないか、お前の方がうたない以上俺の方からもうたないよ・之からダンス音樂を送るからフランスのうまい踊を見せてくれ」といつた調子のノンビリした戰爭風景が毎日繰返されてゐるらしい

倫敦の慰問袋

田舍の子供へ日本製の玩具

戰線へは身の廻り品

【ロンドン十月二十七日通信】いよ／＼クリスマスが近づいたが、ロンドンの家庭では先づ大陸の戰線へ、それから田舍に避難した子供達へと兩方に贈り物をしなければならないので大變である、開戰後間もないので慰問袋は日本ほど盛んではないが戰線の食糧は今なほ豐なので贈り物は身の廻り品バターやチーズ、酒その他の飲み物であるが西部戰線で目下降雨つゞきのため特にゴム長靴を兵士が要求してゐるといふ

一方子供たちへの贈り物は田舍で不自由してゐるだらうといふのでどこでも同じ親心で玩具の買出しに大童になつてゐる、戰爭をすぐまねた高射砲から輕氣球まで飛び出し兵隊さんの玩具も前より澤山現はれてゐる、機械物がドイツから入らず專ら國產品で三輪車や賽ころ遊び等相變らず嚴重な禁輸も玩具だけは通るから日本品もどん／＼入つて來てゐる

晩香坡島内語學校懇談會

チマイナス校で

【チマイナス通信】既報の通り晩香坡島内日本語學校教育懇談會は海を隔てた遠地に位置する加奈陀日本語學校教育會の集會に出席不可能の場合などもあるが故に島内各校は島内の何處かで會合の機會を得、以て各校の狀況、教育方法等を研究し各校間の聯絡と教育内容の充實を計る趣旨で去る十一日午後[illegible]チマイナス校で開催、頗る盛大なりしにも拘らず遠隔の地よりも多數出席、豫期以上の盛況大成功であつた △[illegible] △歡迎の挨拶＝主催校校長河部友喜△自己紹介△議長及副議長選定＝滿場一致を以て河部氏を議長に推薦し副議長は議長の指名により山下、坂田兩氏其の任に當る△經過報告＝菅谷うめ△挨拶(教育會長)石原明之助△各校の現況報告 各校教師△協議事項＝(イ)昭和十二年六月發刊の晩香坡島内日本語學校教授方針(ナナイモ校提出)各校の意見を徴し提出校と協議、各校間に研究することに決定、(ロ)教授時間に關する件(ナナイモ校提出)、(ハ)教師[illegible]開催の件(同上)右の三案を晩香坡島内日本語學校教育會より發案として加奈陀日本語學校教育會へ提出すること、(ニ)時局に際し特に日本語學校教育上注意すべき點(晩香坡島内提出)時局に鑑み益々石原氏及日本語學校教育上注意すべき點につき石原、佐藤兩氏より詳細に亘り説明あり後種々懇談した(ホ)教師招聘研究會の件(チマイナス校提出)原案通り加奈陀日本語學校教育會へ提出すること(ヘ)懇談會定期開催の件(同上)開催することゝし次期開催地はチマイナス校に於て斡旋の勞をとること

豫定プログラムでは懇談終了後佐藤校長の講演がある筈なりしが時間が遲れた爲め後刻改めて開催することにして懇談會を閉會に先だち小野氏より緊急動議として感謝決議を提出、滿場一致を以て通過した

◇

今回晩香坡島内日本語學校教育懇談會開催に當り主催チマイナス校發起加奈陀日本語學校教育會斡旋委員會、ビクトリア、ナナイモ兩校の斡旋の勞に對し本懇談會は茲に深甚なる謝意を表す 右決議す

昭和十四年十一月十一日

晩香坡島内日本語學校教育懇談會

當日の參加校及出席者左の通り

△加奈陀日本語學校教育會 石原明之助、佐藤傳△ナナイモ校 小田新九郎、中津米吉、新政吉△カンバーランド誠友學院 小山勝雄、小野善雄△オイロー校 岡田秀代、古部藤右衛門、小倉各七、豐田正七△ヒルクレスト校 竹村はな、井上為吉、稻木音松、今村熊吉、渡邊正智△ダンカン校 中原源市郎、深草龜喜、堀内百々造△ビクトリア校 小倉熊藏、小倉トメヨ、上田梅吉△ディプベイ校 三輪たみ 伊藤純一、森下なお△チマイナス校 菅谷うめ、河部友喜 吉田留吉、山下西造、西村万造、林庄作、江口壽八、菅谷吉治、本川久八、坂田滿幸、沖信晉二

映畫と講演

◇映畫會＝教育懇談會閉會後岩崎氏提供の映畫を上映、觀衆堂に溢るゝの盛會であつた

◇講演會＝映畫會閉會直後佐藤校長の東部加奈陀及び北米視察につき、引續き岩崎與理喜氏の日本及中支視察につき講演あり翌十二日朝は石原ドクターの婦人及小兒を主とした衞生講話があり共に盛會、當事者は講演者諸氏に深謝してゐる

例會と役員會

庭園業組合

日本人庭園業組合では來る十九日(日)午後二時よりキチラノ語學校に於て今月の例會並に第十一回定期役員會を開催、尙當日は球根類其の他時節物の研究をなす筈故同業者の出席を希望

齋田愛子さん……

いよ／＼日本へ

歸つたら皇軍慰問へ

齋田愛子孃がビクターの赤盤歌手を土產として生れ故郷晩香坡に歸つて二年半になる、そして間もなく勃發した支那事變に影響されて宿望の米國東部行きは實現しなかつたものゝビー・シー及びアルバータ兩州各地に歌行脚して日加親善の實績を擧げ太平洋沿岸各地でも獨唱會を開いて絶讃を博した事は屢報の如くであるが、愛子孃は日本に於ける後援者達からの勸めもあつて事變下の日本に歸りビクターの慰問團に加はつて前線勇士や傷病將兵に聲の慰問をなすことになり、來る廿二日當港出帆のナイアガラ號でハワイ經由歸朝することに決定したので昨夜八時からカソリック・ホールに於て一夜の名殘を惜しむべく多數の知友を招待してプライベートコンサートを開いた

コンサートは愛子孃の外に岡崎メリー、新律子兩孃及び中村哲君がそれ／＼助援して孰れも大喝采を博したが、特に愛子孃は歸晩後もなほ撓みなき精進を續けイタリー留學以來磨きに磨きをかけた天賦の美聲はます／＼圓熟を示し、昨夜獨唱した和洋十四の曲目は一曲々々聽衆を陶醉せしめた、終つて茶菓の饗應があつて十時半主客互につきせぬ名殘を惜しみつゝ散會した

尙は愛子孃は歸朝の途次ハワイに立ち寄つて約一ケ月に亘りホノルル市其の他各地で獨唱する豫定である

サレー苺栽培業組合

第十三回定期總會

【サレー通信】去る十月二十八日午後七時半より當地日本人ホールに於てサレー苺栽培組合第十三回定期總會を開催、先づ砂田會長の挨拶あつてブックキーパーの本年度の苺市場及會計報告、幹事の會務報告等あり異議なく承認、次いで新入會者渡邊橋本兩氏を紹介、二三議事を協議した後舊役員に對し滿場一致感謝決議をなし最後に役員の改選を行ひ左の諸氏が當選した

△會長 井上善之助△副會長 川添春水△議長 福島寅三△書記 今橋種吉△評議員 加登靜雄、重廣三郎△監査役 砂田直太郎、佐藤惣右衛門

歸道館柔道大會

——第四面より續く

◇ヘネー支部＝近年あまりふるはぬヘネー軍も本年は其の陣容の變れる事少からず料治初段、三谷初段の戰略如何

乙組＝(大將)松尾光男(副)岡部寛、古賀正明、沖清、(先鋒)齊本清

◇ウッドファイバー支部＝昨年出場を見なかつたウ村軍！、本年は田元初段の熱心な指導下に遂にその陣容なり新進の意氣は天をつく概あり

乙組＝(大將)井手上昇(副)外海利富、丸橋民雄、西田亘、(先鋒)西田勝(補缺)佐藤德衛 藤村一志

◇チマイナス支部＝晩香坡島の明星チマイナス道場はダンカン道場と併合した鐵壁軍、坂田二段中原二段の奇策縱橫、各軍は油斷ならず

甲組＝(大將)永尾忠雄(副)勝野理一郎、沖芳人、大里只雄(先鋒)延藤博

◇ミッション支部＝昨年度の乙組決勝戰に惜くもキチラノ軍に降り悲憤紅淚を絞つたが本年こそは倒れて後やむの覺悟固く、フレザーバレーの雄橋爪二段の奇略何處を突くか？

乙組＝(大將)山内英治(副)下田繁人、仙田義雄、大熊一敏、中村將太(補缺)森義雄、伊藤次雄

甲組＝(大將)久岡健一(副)森山清、森隆雄、田尻智男、伊勢光好(補缺)松井和夫、中村悌次

乙組＝(大將)西村清(副)岡田賢、豐田眞澄、小倉義助、(先鋒)今釜光春(補缺)豐田勘一 森田十四夫

甲組＝(大將)西村正雄(副)江口安雄、稻木利雄、橋本健一(先鋒)森田十四夫(補缺)大田勇、立石加奈男

以上は團体試合であり此の外に百五十名を三組にわけた加奈陀選手權爭奪戰があり今から其の熱戰が豫想されてゐる、尙大會準備に忙殺されてゐる本部では案内漏れあるやも知れないが多數の來會を希望してゐる

紀伊海協の追悼法要

本派佛教會で

紀伊海外協會では來る十九日(日)午後二時より本派佛教會堂で今次事變戰歿勇士の英靈並に同胞先歿者の貴き靈を慰めるため大追悼法要を執行する、縣人及び一般多數の參詣を希望す

ベビーシユー サイズ ○…四 四〇 四五 五五

	サイズ				
ガールシユー	五…七半	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	八…十半	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	十一…十三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ボーイシユー	八…十半	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	十一…十三半	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	一…五半	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

水の入らぬ冬向靴＝豊富に取揃へてありますから御來店下さい

加藤靴店

晩香坡市パウエル街三三八
電話シーモア八六一九

ARROW CRAVATS

仕立は良し
切地は良し
スタイルは良しで、益々好評を頂いて居ります

晩市パウエル街三六九
電話シー五二一八＝五二一九

クリスマス、お正月も間近くなつて參ります
御新調は一つでも品數の多いうちに
特別仕立は充分のタイムのある中に
入念にお仕立申上度う存じます

前川商店洋服部

紙はり
…年の經驗を以て美し…
襖等も完全に擦り埋め精度強き材料の糊を用ひ丸て調和よく完全に責任を以て安價に致しま…

◉御花嫁の御仕度一切
オイルパーマネント及無電無熱パーマネント

花嫁様の御支度
御拔露に日本着振袖お貸し致します
最新式機械及び無機械のオイルパーマネント・ウエーブ

御花嫁の御仕度一切
日本着振袖賃貸
長髮、短髮及機械無各種オイルパーマネント

クラウン生命保險會社

TAIRIKU NIPPO

Vol. 34 No. 9892 THURSDAY, NOV. 16, 1939 Vancouver, B. C.

Valley Farmers Back War Effort

PITT MEADOWS—A bill to make monetary contributions to the defence of Canada received heartwarming support at the representatives' conference of the Fraser Valley Japanese Farmers' Association held here last Sunday.

The conference was represented by 32 persons from Haney, Hammond, Mission, Whonnock, Pitt Meadows and Surrey associations.

It was decided that the representatives refer this matter to their respective associations and submit reports concerning the reactions for further discussion at the annual gathering of Valley farmers slated to take place Dec. 4, in Haney Japanese Agricultural Hall.

A proposal to hold a welcome party in honor of Hon. Kenji Nakauchi, new consul, was also passed. The date of this affair was set for Sunday, Nov. 19, at 10 a.m. in Hammond Japanese Hall.

The decision requesting the executive of each association to assist the Hop Growers' Association in its drive for new members, was also reached among other things.

Druggists Win First Contest

Powell Drug 40 Steveston 38
M. & N. 33 Maikawa 32

That beam in Mr. Roy Hoshino's eye reflects satisfaction in his Powell Drug team's 40-38 overtime triumph over the Steveston seniors who made their first start last night at the Japanese gym. Although Steveston was handicapped by shortage of several players still occupied in fishing, Powell Drug's victory was well deserved for they could have won more comfortably had accuracy and smarter passing favored them.

For Steveston it was a trial to step immediately into a rough-and-tumble brand of game. Leading all the way, stamina left them at the turn of the half and injection of tired junior blood didn't help. Believe it or not, veteran "dead-eye" Yamamura's six of his 8 points arrived in the final half to provide unexpected power.

To Tuck Shimizu goes the credit for scoring the 34-all evener at 30 seconds to regulation time. Teruo Nakatsu, the Steveston star with 20 points, almost single-handedly kept his team in the running. He scored two baskets to match those of Hoshizaki, Masuda and Shimizu. Frank Shiraishi led the druggists with ten points.

Incomparable with the Steveston-Powell Drug affair which aroused fans into an uproar was the gentle M. & N. win against Maikawa. While the score would suggest a thrilling neck-to-neck finish, it was actually a walk-away for the initials who led all the way.

With Kay Hirano running wild for 16 points nullifying Shige Ashikawa's 15, M. & N. led 18-10 at the half and Maikawa was still behind 21-26 at the third whistle. Mike Maruno made it 30-33, and Yuki Uno second high Maikawa shooter, dumped in two free tries as the closing whistle shrilled.

Ashikawa played the last half with three penalties shrouding his actions, while Hirano was hurt in the last five minutes while making one of his characteristic leaps at the hoop.

STEVESTON: Naruse 3, Nakatsu 20, K. Nishii 3, Sogawa 2, Ichino 2, Matsuba 3, F. Nishi 5.—38.

POWELL DRUG: Yamamura 8, K. Hoshizaki 6, Sawayama, Shimizu 9, F. Shiraishi 10, Yokota, Ota 2, Masuda 5. —40.

MAIKAWA: Ashikawa 15, Mitsui 5, Uno 6, Onizuka 2, Hayashi, Nikaido, Maruno 4, Sawada.—32.

M. & N.: Ide 2, Wakabayashi 4, Korenaga, Inamoto 2, Suzuki 2, Hirano 16, Tanaka 5, Nobuoka 2.—33.

BRIEFS: What Steveston goes through to get its teams to town..Since most of the players go to language school which finishes at 5.30, only half an hour is allowed for supper..then the bus is loaded for the trip in a terrific hurry to reach here at 7..enough for a nervous breakdown says Kichiji Nishii and Tets Tamemoto, the mentors ..consumes 10 bucks per trip.

Steveston Trims Marpole

Steveston 29 Marpole 17

Stinging Muneo Miike's Marpole five with their first defeat was the role capably filled by Steveston juniors in the first appearance in the Japanese Basketball League at the Japanese gym last night.

In a brisk, hard-checking style Steveston completely blanketed Marpole's high scoring line which strove vainly for the fourth straight victory. While Jinx Miike was held to six points, Kunio Ichino, Kiichi Naruse and Ross Matsuba smashed through the somewhat bewildered Marpole defence for 22 point total.

When Steveston led 13-6 at the half it was unbelievable but as they held strongly in the third quarter, it became stranger and doubting minds soon felt defeat facing the proud league leaders.

Marpole in first showing of green and white jerseys failed absolutely in the final quarter as Steveston rushed a 7-4 point advantage. The league leader however took defeat in a philosophical manner and were trying to consolidate their scattered offensive to the last. The Steveston hustle should take them to the top as key man, Mori is still absent due to fishing duties.

STEVESTON: K. Ichino 7, G. Matsuba 5, K. Mukai 2, D. Naruse, K. Naruse 8, M. Kishiuchi, K. Konishi, Ross Matsuba.—29.

MARPOLE: Fukumoto 4, S. Miike 3, Y. Fujioka 2, Ito 2, J. Miike 6, Nakagawa.—17.

BADMINTON ROLLER MONDAY

The badminton roller skating party will take place next Monday, at 7.30 p.m. at the Roller Bowl to raise funds to continue play at the expensive Strathcona gym.

California Singer Awaited Here

CHIYOKO MATSUDA

Chiyoko Matsuda, coloratura soprano from Petaluma, California, will appear in first Northwest recital in Vancouver on November 25, from 8 p.m. at the Japanese Hall under auspices of Vancouver Chapter J.C. C.L.

Raymondites Relax

(By Raymond Correspondent)

RAYMOND, Alta.—Favored with ideal weather, the harvesting of the last of the crops has been finally completed. Now the local farmers can look forward to Old Man Winter with a feeling of contentment and satisfaction. (We hope.)

I wonder what accounts for the so many big smiles folks? Is it because of no more work or . . . is it because of bulging wallets?

With the coming of winter however, Raymond will miss several folks who are leaving for Japan within a short time. The Bukkyo-kai held a farewell party for the Kitaura family and Mr. T. Sugimoto on Nov. 5.

The honored guests gave short speeches in which they expressed their thanks for the kindnesses bestowed upon them during their long stay in Raymond. The community extends to them "best wishes and a pleasant "bon voyage".

For the past months we have seen several nisei attending a certain church every Sunday morning. What's the attraction boys?

Every success to Tucker Hironaka who left recently for Calgary where he will attend Technical School. Next time (should there be another time) let us know about your leaving. What say Tucker?

Long Trip Undertaken.

Mr. N. Takeda accompanied by several young men returned home Nov. 3, from a four hundred mile trip to Rosemary and the surrounding country.

They stated they had enjoyed the motor trip immensely in spite of the fact of being "dog tired" after the long drive. While in Rosemary they visited the K. Hironaka family who had left, Raymond this spring to make their new home there.

At present among the few white settlers, they are the only Japanese people up in that district.

Bussei Expect Large Meeting

Young Buddhists from various points on the lower mainland will assemble this coming Sunday in the Steveston Bukkyokai for the Fall Convention which is being held under the auspices of the League of Young People's Buddhist Associations.

The convention will officially open with a service at 11 a.m. during which period the dedication ceremony of the new league flag will be performed.

The program of the one-day event as disclosed to this department is as follows:

10—11 a.m.: Registration. (Tsuruе Hamade, registrar)
11—1 p.m.: Service. (Kanji Kimura, chairman.)
1—2 p.m.: Lunch.
2—3 p.m.: Catechism. (Questions to be laid before priests for explanation.)
3—5 p.m.: Discussion.
  1. "Nisei's Mode of Living." (In Japanese language.)
    (a) Marriage problems.
    (b) Improvement of living conditions.
    (c) Family system.
    Leader—Minoru Nishi.
  2. "Current Nisei Questions." (In English language.)
    (a) Buddhism and nisei.
    (b) Nisei's position in the present situation.
    Leader—Harry Kondo.
5—5.30 p.m.: Intermission.
5.30—7 p.m.: Supper banquet. (Teruko Kawano.)
Welcome address—Steveston Bukkyokai representative.
Words of thanks—Kiichi Yamamoto.
7 p.m. on: Entertainment. (Teruo Nakatsu, master of ceremonies.)

HOMPA GROUPS NOTE

Hompa Y.M.B.A. and Y.W.B.A. request all those who are planning to attend the forthcoming Bussei conference at Steveston to meet in front of the Kaikan not later than 10 o'clock Sunday morning.

Peace Arch

Since it is useless to reproach an incident past, it is with extreme reluctance that we record one of the worst examples of narrow-mindedness and intolerance which the city press naturally passed over in its telling of the ceremony conducted at the Peace Arch at Blaine on Remembrance Day.

Japanese children who accompanied their school chums in a cheerless downpour of rain to participate in the ceremony conducted annually were segregated and prevented from taking part, presumably by the International Peace Arch Committee.

"Children of a Common Mother"—are the words inscribed in "bold, black letters" on the Peace Arch, said one newspaper story. Before thousands of Canadian and American juveniles, Canadian-born Japanese children were humiliated

A shameful and shabby treatment of mere children who know no other meaning than "Peace".

"For an hour the children stood there in the soaking wet weather. Patiently, perhaps realizing the part they were playing in the promotion of peace in a warring world, they waited for the speeches and ceremony to end," the newspaper report also said.

Readers are reminded of the English play "Father Comes Home" by Kan Kikuchi, to be broadcast by J Z I 9.535 kilocycles (31.46 m.), this Sunday from 9.20 p.m.

Chemainus Girl Praised Highly

MISS SUNAO IZUMI

Another nisei girl who is a credit to the Japanese community has been reported in Chemainus, following in the wake of Chiyo Iwaasa of Royston who was conferred a certificate of recognition by the Royston Aiyuki for her exemplary conduct this summer.

She is Sunao Izumi, 20, eldest daughter of Mr. Gohichi Izumi, a pioneer resident of Chemainus.

Miss Izumi was a little girl of 13 when a disaster which is one of the worst that can happen to any child ocurred—sickness bereft her of her beloved mother.

Her, father who suddenly found dreams and hopes come crashing down, was at a complete loss with seven small children including a baby daughter thrust in his care.

It was then that little Sunao was awakened to the realities of life. Grasping the full significance of the sorrowful situation, she bravely made a resolve to fill her mother's place and look after her brothers and sisters

Since then, for seven long years, she had shouldered the burden of taking care of the family. At times it must have been an unbearable strain but she had grimly withstood the trials, fully realizing that her responsibilities were not one that could be cast off lightly.

However, as a result of her untiring efforts, Miss Izumi now has much less worries. Her three elder brothers have grown up into fine youths and are working at a district sawmill, while her younger sister is old enough to aid her in the household chores. Her baby sister of seven years ago now goes to school.

Her father, who has become old, is now able to view his children in peace and contentment and dream quietly of the future when he will be sought after by his grandchildren.

There is a proverb which says "Trouble is the seed of happiness", but that's certainly true of the Izumi family, is the general comment of Chemainus Japanese residents as they voice their praise of Miss Sunao Izumi.

MAVIS YUASA'S J.C.C.L. PRIZE-WINNING ESSAY: "WE MUST LOSE TO WIN"

BY MAVIS YUASA.

(Miss Yuasa now of Victoria was born in 1922 in Vancouver. Her essay won first prize in the Japanese Canadian Citizens League contest. She was second prize winner in the junior division last year.)

In our efforts to attain citizenship we have set ourselves a tremendous task of which, I hope, every "nisei" is fully aware. Success in our enterprise will depend partly on ourselves and partly on the authorities in the Canadian government. It will be a long struggle which will call forth all our powers of perseverence and earnest endeavor. "We must lose to win" sounds contradictory but, nevertheless, it is true in our case, and to explain it in this essay is my purpose.

Time and patience is needed on both sides. We may not gain our goal, perhaps, in our generation but we will be laying the corner-stone for those to come. Great changes do not always happen in one generation. It takes awhile. Canada is a young country and, perhaps has not had time to consider all the people in it. We are beginners, ourselves, for we are only the second generation. Unless we work actively and strive earnestly we may only accomplish a little.

There are enormous differences between the Western and Asiatic civilizations but it must be remembered that many of these have been broken down through continued contacts with and adoption of Western ways of living and thinking. We have accepted the Christian ideals, have respect for law and order, our standards of living are improving because we want to live as others do. Every generation should be judged by itself and not condemned because of the mistakes of the past. Time and necessity are two of the greatest factors in the processes of changes and improvements. Much of the racial prejudice and insults are caused through lack of understanding with each other and his respective characteristics and problems. If no attempt is made to understand the situation the prejudice will remain.

Anticipation of a race war is unreasonable and can be averted. The policy of some that the Japanese should live to itself in order to maintain order and peace is not only impractical but also detrimental to future world peace and human welfare. It is a fact that the West and the East, however each may try to keep to itself, are some way consciously or unconsciously, directly or indirectly, dependent on each other. We want to be citizens not only in form but also because we love Canada, respect her ideals, and want to play an active part in the promotion of her best interests.

Mutual understanding is not impossible. Nothing is impossible until it has been tried persistently in every way conceivable. We have not had time to make complete adjustments but we are on our way.

Living and the joy of living are derived through personal relationships and not by possessions. Tomorrow is determined by our today and our today by our yesterdays. There are some things we must lose to win our vital goal. What we are now and what we do will determine our fitness for franchise. Some take the attitude that because we are not given the rights of a complete citizen we can do nothing. Let me illustrate:

Take the average High School student who thinks that his career and successes begin when his school course is ended. With this mistaken attitude and in his eagerness to complete school he overlooks and misses many opportunities towards building his career. He forgets that what he is then will determine his success in future life. The best material is needed to produce the best results. There is never a complete break in the different stages of life but merely transition.

It has been said that because of racial difference and standards of living we are unassimilable. Not only is that an unfair criticism but also it is false. Japan today as she stands is an example of Occidental assimilation. To an observer the degree to which she has progressed in such a short time because of her adaptability and assimilation is a fact worthy of notice. We who are born in Canada, having a Western environment and existence from the very beginning have an even greater chance and a wider opportunity for accepting their culture than our brothers and sisters in Japan. Our initiative and moral courage if exerted fully in the right directon will carry us a long way.

When we complete High School and seek to enter more fully into the life of the White community by entering their occupations we are made to feel keenly their discriminations in their refusals to treat us on an equal basis with themselves. This tends to make us keep to ourselves, forming our own groups and organizations. This retards our progress with the Canadians and aggravates the problem of conjestion. Doors into the Western professional, social, political and economic life are closed in our faces because of our color. What can we do? Each way we turn we find ourselves against some restrictions or obstacles. There is little we can do except face the situation, proving ourselves their equals, if not superiors, mentally, morally, socially and intellectually. Let us show our neighbors in Canada that we are capable of becoming intelligent and useful citizens.

Despite the fact that we have been born and educated in Canada we are aliens in the land of our birth because we are denied the right to vote. We have been trained to become Canadian citizens yet citizenship is refused us. Why does British Columbia hesitate to do what many of the other provinces have done? Glancing at the situation now we see no great reason which cannot be overcome or improved

See YUASA
On Back Page

'Mum Exhibit Aids Red Cross

VICTORIA—Responding to the national war appeal of the Canadian Red Cross Society a chrysanthemum show was held here last week from Nov. 7 to 11, by the Misonokai; a society established with the object of promoting goodwill between Canadians and Japanese.

More than 80 varieties of some 500 plants, which are direct achievements of zealous study and much devotion by local Japanese amateurs, attracted large crowd of enthusiastic flower-lovers. Included also were over 20 varieties of 'mums imported from Japan and the U.S.A.

The judges, Mr. Uren, head gardener of the city, and Mr. F. A. Saunders, chief gardener of Empress Hotel, and all the visitors, were unanimous in their praise of the gorgeous blooms.

The exhibition was marked by many interesting incidents, outstanding among them being the donation to the Red Cross Society through the Misonokai by an elderly Canadian lady who was deeply impressed by the sincerity of the Japanese to serve Canada in these times of crisis.

Mr. Pendray, a prominent business man in the city, took a photograph picturing Japanese women and kimono clad girls inspecting the blooms. He asserted that he is intending to use picture to inform the Canadian and American people of the Misonokai's efforts to aid the Red Cross Society and to contribute towards the fellowship of Canadians and Japanese.

Also seen was woman artist sketching the scene of the mum display.

Following the conclusion of the show, some thirty plants were presented to hospitals, old people's homes and orphanages to bring a touch of brightnes into the lives of the unfortunates.

The best bloom was submitted by Mrs. Henmi, it was decided by the judges. Second place went to Mr. Otokichi Ohnishi and the third to Mr. Shinpei Watanabe.

Those who sent in floral entries were Keiji Ise, Shinkichi Okamoto, Yasujiro Kusumi, Munezo Kawasoe, Masao Kuwahara, Mrs. Kawahara, Kakuzo Morita, Mrs. Tamaki, Suyeji Mori, Ginsaku Ishikuro, Iwasaku Kadono, Mrs. Henmi, Otokichi Ohnishi and Shinpei Watanabe.

Nisei Girls Assist

The Japanese will be ably represented by two nisei girls at the international meeting of the Women's Missionary Society to be held tonight in Grandview United Church from 7.30 p.m.

The girls are Martha Hori and Mary Hamagaki. Miss Hori will render "koto" and guitar solos, and Miss Hamagaki will contribute piano numbers in the musical program which is to be participated in by representatives of various nations.

Ofukai Plans Reunion Sat.

A reunion social will be held at the New Pier Cafe, it was decided by executives of the Ofukai Graduates' Club at a recent meeting.

The object of the affair is to bring together the members of the three classes which have graduated from the Hompa Chu-jogakko, for a pleasurable evening.

Taking advantage of the opportune time, President Fred Nishizaki will lead several discussions on matters pertaining to the activities of the organization.

The social will take place at 7 p.m. at the New Pier Cafe on Saturday, Nov. 18, and each member will be required to contribute thirty cents.—T. K.

Steveston Bazaar Tomorrow

STEVESTON—Expected to be one of the biggest affairs of its kind to be held in the community, is the grand bazaar which will be held tomorrow and Saturday at the local Japanese Catholic Church.

A large number of useful articles appropriate to the season has been acquired for the occasion and will be placed on sale with numerous other articles on the bazaar counters.

In the dining room, "sushi", "ohagi", pies, cakes, hotdogs, candies, tea and coffee will be served.

Story-Telling Was Success

NEW WESTMINSTER—Attended by approximately fifty nisei teachers from various districts, the meeting on story-telling held here last Sunday by the Teachers' Federation of Buddhist Sunday Schools was a huge success.

The meeting which took place in the local Buddhist temple was conducted under the chairmanship of Mr. Miyamoto. Stories were told by the following persons:

Masao Hori, New Westminster, "Kani-manji"; Kaoru Miyagawa, Maple Ridge, "Stone Lion"; Kazuo Shimizu, Kitsilano, "The Land of Smiles"; Shoichiro Nishikawa; Fairview, "The Son of a Shoemaker"; Tokutaro Teramura, Hompa, "The Story of an Enormous Bullet."

A social was enjoyed before the meeting was brought to a close at 6 p.m.

Mission Y.M.A. Officers

MISSION—The annual general meeting of the local Young Men's Association was held on November 5 in the Japanese Agricultural Hall under the chairmanship of C. Kunimoto.

Since both the secretary and treasurer were unable to attend, their reports were read by T. Nakamura, vice-president. The reports were adopted without dissension.

Amendments were then made to the constitution and after discussing a number of bills, the following officers were elected for the coming term:

President and chairman: Chikao Kunimoto.
Vice-president: Toyosaburo Nakamura.
Secretary: Tadashi Saito.
Treasurer: Tashiro.
Literary and dramatic department: Juichi Tsuji.

Japanese Artists' Club Is Formed

Reorganizing the Maple Art Club, a new organization was recently formed at a special meeting held recently by local Japanese artists and sculptors. It was named the Canada-Japan Art Club.

The object of the club, it was decided, will be to contribute towards the cultivation of refined taste, especially among the nisei, by encouraging the art of painting and sculpturing through mutual assistance. Those who are interested in these arts are urged to join the club.

The club has been fortunate in securing the use of the study room of one of Canadian art groups in the Holden Building.

The members of the executive committee include: Miyoji Sone, secretary; and Densaku Kondo, Kawiguchi, Ryohei Hoshino, Kozo Morino and Sam Yamada.

Juvenile Court Judge Speaks

HANEY — Twenty representatives from various centres in the lower Fraser Valley assembled in the local Japanese Hall on Remembrance Day for an educational discussion under auspices of the Fraser Valley Japanese School Society. Districts represented were Pitt Meadows, Hammond, Whonnock, Mission and Haney.

One of the highlights of the meeting was an address by Mrs. Helen MacGill, Judge of the juvenile court, on "delinquency of Oriental children as observed by the juvenile court."

After a long discussion, a number of projects were drawn up for next year to commemorate the 26th centenary of the founding of the Japanese Empire. They are:

1. To publish a magazine next summer. A section will be devoted to compositions of pupils.
2. To confer certificates of recognition on those who have contributed much toward the education of Japanese children, and on outstanding pupils
3. To establish a Japanese library in each of the schools and enlarge it year by year.
4. To plant trees on school grounds to commemorate the occasion.

It was also decided during the discussion meeting that teachers stress the necessity and value of home education for the purpose of reforming delinquent children.

Seinen Group Forms In Alberni

PORT ALBERNI—A bill to organize a young men's group was carried with one accord at the regular meeting of the local Kyowakai last Sunday.

At first the plan provoked great argument among the members, but after a prolonged discussion it was finally adopted and four youths, Makami, Matsui, Mitsui and Kondo were elected to the executive of the Seinenkai. Rev. Ono was recommended to the post of advisor to the new youth organization.

The proposal to solicit funds for the defence of Canada was left to the executives for final ratification.

The task of sponsoring Japanese movies for the purpose of obtaining funds to maintain the activities of the local Seinenkai and Japanese Canadian Citizens' Association will henceforth be left in the hands of these two groups, it was also decided.

Miss Saita Entertains

Entertaining about 100 people last night at an informal gathering in the Catholic Mission hall, Miss Aiko Saita bade farewell to her many Vancouver friends. She leaves directly for Hawaii on the S.S. Niagara on November 22, from Vancouver instead of via San Francisco.

Displaying once again the vast improvement of voice and technique, Miss Saita sang many numbers and responded generously to encores.

Assisting as entertainers were Misses Mary Okazaki and Ritsuko Shin and Mr. Satoshi Nakamura.

Nisei at Ottawa

Three nisei who went to Ottawa's Japanese Legation from Vancouver are undertaking various duties in a satisfactory manner, according to Consul Kenji Nakauchi who returned Saturday from the Canadian capital.

Reporting a very rough return trip, Mr. Nakauchi requested that Hideo Iwasaki, Hajime Matsusaki and Eitaro Iwamoto be mentioned especially for successfully fitting into Legation positions.

Students' Fall Informal Sat.

Swirling skirts, flashing suits and honeyed syncopations will introduce the season's highlight in the J.S.C.'s social function—the Fall Informal.

It will take place amid the friendly atmosphere of Killarney, Point Grey Road on Bayswater, from 7.30 p.m. on the night of Saturday, Nov. 18.

Joe College will emerge from his books and laboratories to sway, swing and jive away his cares to a lavish extravaganza of music and color. Advnce notices seem to indicate the students will pull a surprise play in the form of a newest of new dance steps—chassis, daze, yo-yo, bo-lo, etc., etc. (J.S.C. copyright.)

Committee in charge wishes to announce also that all of the limited number of tickets have been disposed of. It is their firm desire therefore, that no tickets will be sold at the gate. —K. K.

TAIRIKU NIPPO
(The Continental Daily News)
(Established 1907)
Published at
213 East Cordova Street
Vancouver, B. C.
Phone TRinity 5533

Please address all communications to this department, "English Section," for quick handling.

Subscription: 75 cents per month.

Whither Nisei?

What did the Japanese Canadian Citizen's League's fourth annual nisei convention actually accomplish? That is the question which is naturally open to wide debate.

The most significant action of the convention may be their reaffirmation of the Canadian-born Japanese allegiance to Canada. The J.C.C.L. gathering offered full support to the government in these times of war.

Naturally the task which the convention sought to perform in the two-day's discussion was great but the work it did do on its fourth year of existence was considerable.

Just to gather together the youth of the province to exchange information on the various problems confronting the nisei of today was in itself of immeasurable value.

The delegates were told of the helplessness of the Canadian-born in the face of the slowly encircling forces of discrimination in their fields of livelihood.

With every indication that the law of the "survival of the fittest" is being pointed at the unenfranchised nisei, evidence which is seemingly damaging to the nisei on the surface is being compiled.

Certainly a study of the "case" against the nisei, if it were permitted to be made, could be squashed promply. But the leaders of the anti-movement would not permit this, and the resultant "whisper" campaign hurts the standing of the Canadian-born.

In there too—mixed up somehow—is the misunderstanding of the issei and the nisei. How to reconcile the two on a common front?

The impatient pull of the nisei against the issei interference. How to justify the cry of one delegate questioning such a low wage scale for the nisei as compared to Canadians?

How to meet the Canadians on even terms when the avenues of commerce are being slowly closed?

But why should they close?

And a good reason for the J.C.C.L. convention was to seek some means of forcefully bringing before the Canadian public, the nisei rights for equal opportunity in the land of their birth to which they remain faihtful.

Civil Aviation

(Continued from Last Thursday

The Central Institute for Aviators will be established at Matsudo, Chiba prefecture, for the purpose of training professional aviators for immediate service with regular air transportation companies, and also for training instructors for the local institutes. Fifty graduates of the local institutes will be selected annually to finish their training in the central institute.

The institute will begin to function normally in 1940, following two years of preparation. As it is self-evident that several years will pass before the first students are graduated from this institute, training will continue in existing organs to supply the immediate need for aviation personnel.

Proper airport equipment, mechanical flying aids and safety devices naturally are indispensable requisites for the smooth operation of regular air lines. For instance, the improvement of weather observation and radio facilities is most important for the enhancement of safety and guiding pilots during stormy weather. The role played by the wireless in aviation is far more important than most imagine.

To enable aviators to follow an accurate course safely through darkness, rain, and fog when visibility is reduced to inches, sensitive gauges and indicators in the planes, radio beams, light beacons along the route and special devices to facilitate blind landings must work together with hairline precision. The full installation of such equipment is indispensible

As night flying is essential to perfect the system of speedy transportation and communication, all routes to be covered at night must have beacons along the way as well as neon landarks, signs to mark obstacles, lighted weather-vanes, searchlights and well-illuminated airports. Emergency landing fields between regular airports also are necesary.

For the installation of these facilities, the government has exercised all possible efforts in recent years, and such equipment on the main air routes in Japan proper now are nearly adequate, so far as the present need is concerned However, such equipment is not sufficient to cope with the situation created by the speeding up of flight and the appearance of huge transport planes.

Several landing fields more than 1,000 metres in length are to be prepared for large passenger planes Regular airports are to be extended in area to 300,000 tsubo. The government this year began the work of enlarging Gannosu airport at Fukuoka, which serves as a hub for flights connecting Japan, Chosen, Manchoukuo, and China

At the same time, the improvement of the Haneda international airport in Tokio and the construction of the new Sunamachi airdrome are being carried on Authorities also contemplate the construction of a number of new flying fields.

The Board of Aviation announced in August that it had extended permission to the Kanegafuchi Spinning Co, largest spinning concern in East Asia, to establish the 15th aircraft manufacturing company The new concern is to be capitalized at 30,000,000 yen and will be known as the Kokusai Kogyo Kabushiki Kaisha (International Industry Co., Ltd.)

Conclusion.

We Follow Sir Wilfred Laurier

The part played by Sir Wilfred Laurier, who became prime minister of Canada in 1896 and held that position for 15 years—longest period of premiership to date to bring about mutual respect and understanding between English and French Canadians was traced by Miss Norah Fujita who was awarded the Nemichi Chalenge Trophy, emblematic of provincial oratorical supremacy, in the J.C.C.L. contest held over the week-end. Her talk was titled "We Follow Sir Wilfred Laurier."

As the first French-Canadian premier of Canada, Laurier fought to break down the barriers threatening Canadian unity and confederation, Miss Fujita said. His chief desire was to see British and French Canadians lying in complete harmony.

"If Laurier could be present this evening to see Occidental and Japanese Canadians, as one, paying respects to the flag of their country and Empire, and together rendering the national song, "O Canada!" exclaimed Miss Fujita.

Because Sir Wilfred has travelled the same road before us and reached the gates of success before us, his accomplishments should be an encouragement and inspiration to the nisei", Miss Fujita continued.

The nisei would do well to study the finer qualities for which Laurier's name is honored even to this day, said Miss Fujita, who pointed out nobleness of character, unswerving adherance to worthy convictions and unselfish service to Canada are the essence of success. She advised that "we can abide by the Rotary Club's motto: 'He profits most, who serves best!'"

Laurier's principles were based on tolerance, compromise, moderation and conciliation, Miss Fujita said. Although constantly attacked by extremists, Laurier fought always to steer a middle course. Canada enjoyed rapid growth and unusual prosperity under Laurier because of natural reasons but mostly because of the French-Canadian premier's leadership, Miss Fujita said.

Quoting Miss Fujita:

Laurier was born in 1841 in a little Quebec village of St. Lis. From an obscure lawyer and journalist, he arose to become the premier of Canada.

"At the age of 30 he was a representative in the Quebec legislature, and three years later went to Ottawa as the French leader of his party.

"A 'fortunate accident' advanced his career. The 'accident' was in the form of what is hailed as the finest speech ever heard in the Canadian House of Commons, delivered as a plea for tolerance on the conviction of Louis Riel.

"Four years later, Laurier became the national leader of his party. After many years as the Opposition, he led his party to power in 1896.

"Reasons for maintainance of the long term of Laurier as prime minister of Canada were his personality, moral qualities, together with his eloquence, all of which aided in transforming rampant hate into respect.

"To Laurier, the 1914 Great War meant increasing racial strife and the uprooting of his life work. Laurier died in Feb. 1919."

"If Laurier could see Canada of 1939, he would view a united Canada at war; his Quebec compatriots casting overwhelming vote of loyalty and co-operation—a Canada of Laurier's vision coming true and another racial group, the Japanese Canadians following in his footsteps."

NUMONT-FUL-VUE
Beauty in Simplicity

HAJIME
SUZUKI
OPTOMETRIST

377 POWELL ST.

SEY. 1185
7935

FALL FASHION

Large Selection of
Winter Coats

Modiste
Fashion
Shop

T. Shimotakahara, prop.

450 Granville Street
Seymour 4941

Japanese Ice Hockey Team Forms Here

Two Capture Kendo Prizes

In the kendo tournament held in Seattle last weekend by the Dai Nippon Butokukai, two cups were won by Vancouverites. They were:

Masao Shiomi for defeating nine men in a row in the seinen, red-white match.

Eiji Omaye, nidan, for defeating six men in the seinen red-white match.

Both represented the local Yoshinkan.

Sun. Table Schedule

Because the Hompa teams are not able to play this Sunday due to Bussei conference at Steveston, the schedule published November 9, has been altered. In future the clubs are asked to follow Thursday's or Saturday's paper for week-end games.

This week-end's games are:

SENIOR: Kitsilano at Mikado; Tairiku at Gakuyukai; Fairview at Union; Hompa-bye.

JUNIOR: Mikado at Kitsilano; Gakuyukai at Tairiku; Union at Fairview.

Celtics Resist Nomad Power

Nomads 41 Celtics 35

Celtic Cannery's game little team almost upset a wild Nomad team Tuesday night in a junior division basketball game. Trailing 14-7 at the end of the first quarter, and 22-13 at the half, Celtics came to life as the Nomads eased up without rootin'-tootin' coach Joe Akiyama's insults as tonic to hustle.

In the third quarter Celtics outscored Nomads by 12-5 baskets and put the total at 27-25. Going into the finale the cannery team's S. Kano whipped in the evener at 27-all. With that scare Nomads recovered, Takeo Ozaki potting one of his many attempts at the critical time, to go ahead 29-27. In the exchange of baskets that followed the Nomads without a doubt had the edge in scoring ability.

T. Sasaki and S. Miki tallied again as the last stand before the Hashimoto-Ozaki-Tsukamoto barrage. Nomads were 14-10 points to the good in the final frame.

Nomads and Celtics are tied in third place with two wins and two losses apiece.

CELTICS: M. Sasaki, S. Kano 8, T. Sasaki 2, S. Ishikawa 2, S. Minamimaye, Koji Kadonaga 10, S. Mik 113, G. Omotani.—35.

NOMADS: Tsukamoto 5, Hori 14, Ozaki 6, T. Hashimoto 14, Fukui 2, Miyazaki.—41.

Six Organize Baker Journey

Six members are making a jaunt to Mount Baker in what is termed as a strictly "experimental" venture by Bus Ohori, this Sunday. The party will travel in Ohori's car, leaving Sunday morning at 7 o'clock if the weather is favorable.

Those going are Bus Ohori, Tom Hatanaka, Tuck Shimizu, Bob or Bill Yasui, Sam Hugino and Ty Sugimoto. Ohori explained that the advance guard is to prepare for the club's contemplated trip and expects plenty of personal pleasure besides.

Members desiring club sweaters should inform Sam Hugino or Bus Ohori before Saturday, Nov. 25, to get the $4.95 price.

Pee-Wees Play Christmas Game

Juniors interested in playing ice hockey this winter should go out to the Forum this Sunday from 3 to 5 p.m. They must take along a note signed by their parents giving the youngster permission to participate on an ice hockey team.

Arrangements have been made for the Japanese pee-wees to play the curtain raiser to open the professional hockey league game on Christmas Day, it was revealed.

The coming Sunday is the last opportunity to secure membership cards which permit free skating and opportunity to practice four more Sundays to try for places on the team.

Skate at Roller Bowl Monday.

Nippon B's Triumph

Nippon B's of the Pro-Rec league chalked up their first win Tuesday night at the Japanese gym by edging out the Kivans in a one-point decision of 31-30.

Displaying a cool-headed, accurate passing attack, Nippons tangled their taller foes with a floor-level barrage around Kivan legs, and could have won comfortably had they been favored with more accuracy in shooting.

Of course the Nippons were hampered in shooting at close range since the Kivans did not require to stretch their arms to cover the ball-carrier, but this handicap the junior all-stars overcame with fast breakaways into enemy zone.

Nippons had trouble stopping MacLean, who scored 10 points, as the Kivan player leaned over and placed his shots. At that the brothers Jinx and Sub showed them up, collecting 15 points together.

NIPPONS J. Miike 7, S. Miike 8, Fujioka, Fukumoto 5, Suga 4, Tokawa, Yamada, Hashimoto 3, Hori 4.—31.

OFF THE CUFF: Pro-Recers will hereafter play on Wednesdays . . . . Conflicting with Japanese gym classics . . . . Which worries Minoru Akiyama again . . . . A game with a Chinese team may be arranged and in the name of sport a neutral site, maybe Templeton gym, will be chosen . . . . A Pro-Rec official has offered to negotiate.

Soccer Matches

Scheduled games for Japanese Soccer League over the week-end are:

Nippons at Fairview; Kitsilano at Marpole; Hompa at Taiiku.

Shadow Nakatsuka announces he is available as referee to any game from this Sunday.

Nippons Repulsed

With "Idenouye" Ashikawa sparking the Nippon As of the Community league, Y.M.C.A. just managed to beat the Japanese five Tuesday night at the YWCA court. The score was 26-24.

Nippons: Ashikawa 12, Shimizu 6, Nikaido, Suzuki 2, Hirano 2, Akiyama 2.—24.

Badminton Tune-up

Badminton players prepared for the opening of the Japanese Badminton League when the second of inter-club Strathcona gym matches was played Tuesday. The Tuesday nighters who will play under the colors of the Powell Y.P.S. displayed their aces, Michi Ashikawa, Henry Arikado, Ernie Arikado, Masao Matsui, Johnny Tanaka, and many others before the unhappy Yoshio Matsui, Thursday night captain.

Continued from Front Page

YUASA

by time. Yes, there are many objections against us but we will fight them down. Failure by Canadians to make a distinction between the first and second generation has made us the objects of the same discrimination directed towards our immigrant parents. Here is a challenge for us to prove to them that we are different that we are as Canadian as they.

School is the ideal place for assimilation not only because it is here we make the greatest contacts with the native Canadian but also because at this stage the color line is not as definitely drawn as in after school life. The majority of the "niseis" attend or have attended school which has proven beneficial to us. It is the duty of the second generation and those to follow to educate themselves by experience. The "niseis" cry is, "What can we do with an education which we cannot put to its best use? In the business world our hopes and ambitions are cruelly shattered by Canada's refusal to accept us." This is true but it is in our power to help the situation. All these privileges will be granted us when we attain citizenship. They will come in time. However, we are unable to fulfill the demands and rights of citizenship if we do not train for it. Education always pays in the end.

The greater majority of our immigrant parents have kept the Buddhist religion they brought over from Japan. However, it is dying out in the second generation. To a great extent the majority of second generation have accepted Christianity. The ones who remain are indifferent to either and have no conception of religion. The Canadians look askance at us because they fear and are suspicious of the influence of Buddhism among us and of it gaining ground in Canada. To be perfectly frank, the "niseis" have no more ideas about this foreign religion than the Canadians have. For several reasons we do not want it. Firstly, we do not understand it. Secondly, it spoils our Western training; and, thirdly, it increases antagonism against us which is a problem we are anxious to overcome.

There is definite break and conflict between the first and second generation because of the great difference in our respective cultures. We go to school, learn the English and acquire the culture of the Westerners. We participate in Canadian games and similar social activities. The influence of Canadian environment has dominated much of the "nisei's" life. Naturally we are inclined to criticize the first generation and the inevitable result is conflict. The break causes unhappines but it is necessary to assist assimilation socially. Not understanding the Western culture and adhering strongly to their own ,they look with disapproval on our actions. Understanding their situation we sympathize with their feelings but it must not affect ours or our goal of citizenship. The qualities which enabled our forefathers, to succeed in their way are in us but only need to be aroused and stimulated to action. If we have patience and courage we will ultimately achieve our goal.

Just as our parents did and still do feel at a loss here so we would experience the same feelings if we were transferred to Japan after having lived in Canada so long. We have so completely adapted ourselves to Canadian ways that it is practically impossible to adjust ourselves to Japanese life. Our parents who were born and bred in Japan are, naturally, very loyal to the Japanese crown. Our parents reared in an environment totally different from ours, have retained nearly all the characteristics of the Orient while we have acquired much of the Occident. At the present moment we owe allegiance to Japan because we are not full citizens here, but as soon as citizenship takes place, Canada has a right to demand it. Some loyalty is expected of each race for its country or there would be something wrong with the individuals. We are loyal in a way to Japan but we know that we could never enter into her life suitably because we have not been trained for it. Our place, of necessity is in Canada. We are willing to sacrifice our personal feelings and do whatever is needed to secure ourselves a home here. If loyalty is expected of us we will give it wholeheartedly.

Canada's homogeneous population of which we comprise a part is a vital and serious problem. She has built up a culture which can hardly be broken down. However, it would be to her gain if she considered the finer points of the Japanese and added them to hers. We have much to give Canada if she will let us. Canada cannot live to herself but must consider her neighbors, for all nations are in some way interdependent on each other. Canada cannot continue to ignore us much longer nor refuse us citizenship if we prove ourselves capable of the best. We cannot make our contributions if we are not allowed to play an active part in her progress or if we are hindered by refusal of recognition as complete citizens. If we have trained ourselves as highly as possible and come up to the Canadain's standard then we should be treated equally.

It is our duty to further assimilate ourselves with the people of Canada, not only because it will further our cause but also it will be necessary if we are to remain in Canada. Already we have taken on much of the Western ways of living, their customs and manners, language and speech, styles of dress, et cetera. Nevertheless, there is more to be done in adjusting our mental, social, physical and economic outlook. Time shows improvement.

Greater significance has been placed on our population than ordinarily would have been due to the fact that the majority of the Japanese have settled on the Pacific Coast or in the province of British Columbia. The Japanese, as a people, have not been in Canada very long. On their arrival our parents had to make great adjustments and learn many new things. Unused to changes and bewildered by the Western civilization in comparison with the East they made heroic struggles and sacrifices to succeed. They felt the need to stay together and help each other to make the adjustment. Without a doubt they more or less kept their own native culture. A community of Japanese tend to keep their racial characteristics and ideas which we can readily see hinders the task of assimilation.

We must remedy the mistake. We are only two generations and have not had time to penetrate east of the Rockies. Only by scattering our numbers over the length and breadth of the Dominion can we truly assimilate ourselves. If we fuse with the Canadians we will give a favourable impresion, proving that we can and do adapt ourselves easily. We may have been born under diferent circumstances but in every person is the desire to succeed. Not only do we need to disperse ourselves for the sake of our economic outlook butalso to facilitate the process of social assimilation.

Handicapped by prejudice, we have been compelled to the basic industries. In former years we have been forced to maintain a low standard of living because it was a struggle to exist. Much of the capital was spent on the purchase of land to ensure our safety and living. We have no desire to dominate British Columbia.

Our parents paved the way to make it easier for us. We are citizens with limitations. We must sacrifice personal pride and feelings, give up contacts with Japanese culture which are contrary to Canadian ways, face the situation with a brave heart and an honest outlook, remember not to retaliate in any way unmerited insults or injustices and give the best of our time and talents. The attitude with which we meet this great task is going to be a severe test. Some will despair and others will meet the challenge boldly. We are on the uproad and there are those who, content to stop at the first resting place, never reach their goal. The truly great are those who keep up enthusiasm and reach their goal. Our goal is citizenship and if we are to succeed "we must lose to win."

ARROW
CRAVATS

RIGHT OUT OF ESQUIRE

COME OUR

- TIES:—
by Stylebest, Linosair, Berkley, Arrow, Tooke.
In wool, pure silk. Checks, stripes, paisleys, dots, etc.
50c to $2.50
- WOOL HOSE:—
by McGregor.
In plains, rib-stitches.
Colors & patterns galore.
49c & 75c
- Men's BATHROBES
in plain greens, blues, maroons, browns, with matching or contrasting lapels. Flannelettes and wools.
$3.95 up to $16.50

SEE THESE NEW ARRIVALS IN SMART MEN'S WEAR:—

At SHIBUYA'S
MEN'S WEAR DEPT. 374 - 378 POWELL ST.

HERE NOW!

NEW FALL SAMPLES
for SUITS, TOPCOATS

A Large Range of Imported English Woolens in the Smart New Fall Shades — Greens, Browns, and Grays—to Suit Everyone's Taste.

Have Yours Made from One of These Choice Imported Woolens In One of the Season's Smart Styles.

Come in and See Us for Smarter Styling and Finer Tailoring.

"Tailored to Measure Clothes Specialists

Harry's Clothes
459 EAST HASTINGS STREET
High. 2132